

# 令和3年度第1回さいたま市がん対策推進協議会

日時：令和3年7月13日（火）

午後1時30分から午後2時40分まで

場所：さいたま市役所

議会棟2階 第4委員会室

## 次 第

1 開 会

2 挨拶

3 報 告

4 議 事

(1) 会長選出

(2) さいたま市がん対策推進計画の進行管理について

5 その他

6 閉 会

# さいたま市がん対策推進協議会委員名簿

(令和2年10月13日から令和4年10月12日まで)

令和3年7月12日現在

	氏名	所属
1	あんどう あきひこ 安藤 昭彦	さいたま赤十字病院 院長
2	えんどう しゅんすけ 遠藤 俊輔	自治医科大学附属さいたま医療センター センター長
3	おおたけ ただし 大竹 忠	市民公募委員
4	くぼち きよし 窪地 淳	さいたま市立病院 名誉院長 経営戦略特命参与
5	こさか はるお 小坂 春生	市民公募委員
6	こやま のりえ 小山 紀枝	Çava! (サヴァ) ～さいたま BEC～ (患者団体)
7	つのだ じょうじ 角田 丈治	さいたま市歯科医師会 副会長
8	とさか ひであき 登坂 英明	さいたま市4医師会連絡協議会 議長 一般社団法人 浦和医師会 会長
9	のだ まさみつ 野田 政充	一般社団法人 さいたま市薬剤師会 副会長
10	はまの ようこ 浜野 洋子	さいたま商工会議所女性会 会長
11	ひらかわ としこう 平川 俊功	東京家政大学 人文学部 心理カウンセリング学科 教授
12	まつだ くみこ 松田 久美子	公益社団法人 埼玉県看護協会 会長
13	まつもと けいいちろう 松本 桂一郎	さいたま労働基準監督署 署長
14	みしお みさお 三塩 操	一般社団法人 埼玉県訪問看護ステーション協会 会長
15	よこた はるしげ 横田 治重	埼玉県立がんセンター 病院長

(五十音順、敬称略)

令和3年度第1回さいたま市がん対策推進協議会  
関係課職員名簿

所属	役職	氏名
保健部	部長	星野 公男
	副理事	今野 弘美
保健所	所長	西田 道弘
介護保険課	係長	榎本 学
いきいき長寿推進課	主査	山田 希亜
労働政策課	課長補佐兼係長	関野 浩
教育委員会 指導1課	主任指導主事	笛田 透
教育委員会 健康教育課	指導主事	鴨志田 祐子
中央区役所保健センター	所長補佐兼係長	井上 千晴
市立病院 患者支援センター	副所長	日向 俊洋
地域医療課	課長補佐兼係長	比留間 隆敏
地域保健支援課	課長	吉原 勝子
	課長補佐	小島 淳史
健康増進課	課長	塚本 明宏
	課長補佐兼係長	嶋田 理恵
	主査	谷島 由香
	主査	伴田 さち
	主任	中村 恒太
	主事	山口 菜奈

## さいたま市がん対策推進協議会規則

### (趣旨)

第1条 この規則は、さいたま市がん対策の総合的かつ計画的な推進に関する条例（平成26年さいたま市条例第44号）第15条第7項の規定に基づき、さいたま市がん対策推進協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

### (会長)

第2条 協議会に会長を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指名する委員がその職務を代理する。

### (会議)

第3条 協議会の会議は、会長が招集する。

- 2 会議の議長は、会長をもって充てる。
- 3 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 4 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 5 会長が必要と認めるときは、委員以外の者に対し、出席を求めて説明若しくは意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

### (会議の公開)

第4条 協議会の会議は、公開とする。ただし、出席した委員の過半数の同意を得たときは、公開しないことができる。

### (守秘義務)

第5条 協議会の委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

### (庶務)

第6条 協議会の庶務は、保健福祉局において処理する。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

## さいたま市がん対策推進計画・進行管理概要

基本理念	基本方針	目標	分野別施策	R2具体的取組・実績	取組の成果・課題・今後の方向性等
市民が互いに支え合えることができる地域社会の実現	がんの予防と早期発見の推進	がん予防の推進	がんに関する正しい知識の普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>●がん教育出前講座の実施、健康教室でがんについての講話を実施</li> <li>・がん体験者対象の交流イベント実施（おしゃべり会、ミニ講話等）</li> <li>・医療関係者対象の研修会・セミナーの開催</li> <li>・市主催のイベント等や広報誌による周知</li> </ul>	<p>【成果】イベント等は規模を縮小したりオンラインを活用するなど、各団体とも取組の実施のため工夫を凝らした。オンラインの活用についてはこれまで参加できなかった方が参加できるようになるという新たな成果が得られた。</p> <p>【課題・今後の方向性】オンラインの活用はハードの整備やICTに対する知識の習得といった課題があり、その対応が必要である。</p>
			受動喫煙の防止と禁煙	<ul style="list-style-type: none"> <li>●がん教育出前講座の実施、健康教室でがんについての講話を実施</li> <li>・禁煙外来の開設</li> <li>・敷地内の分煙または全面禁煙（病院、事業所等）</li> <li>・禁煙相談</li> <li>・市主催のイベント等や広報誌、掲示による呼びかけ</li> </ul>	<p>【成果】受動喫煙の防止と禁煙について、施設内全面禁煙の取組の他、掲示、市報を利用した方法に加え教育現場や親子参加型の教室での周知が行われ、大人だけでなく幅広い世代に情報発信がされた。</p> <p>【課題・今後の方向性】がん教育推進の観点からも、今後も引き続き子ども世代も対象とした取組みが求められる。</p>
		がんの早期発見の推進	がん検診の受診率の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●がん教育出前講座の実施、健康教室でがんについての講話を実施</li> <li>・人間ドックの利用費用補助</li> <li>・郵送検診の実施</li> <li>・未受診者への受診勧奨として啓発品の掲示・配布</li> <li>・市主催のイベント等や広報誌、掲示による周知</li> <li>・精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨</li> </ul>	<p>【成果】前年度からの継続的な取組が実施されていたが、いずれの検診も受診率は低下した。</p> <p>【課題・今後の方向性】受診しやすい環境を整備するとともにがん早期発見の重要性を唱え、受診を促す必要がある。部位により精密検査受診率に差が見られるため、受診率の低いものをターゲットとした指導・啓発活動の強化について検討の必要がある。</p>
			がん検診の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●在宅医療・介護連携に関する相談支援</li> <li>・医療関係者を対象とした在宅医療研修会開催</li> <li>・多職種間での情報共有</li> </ul>	<p>【成果】病院や施設での面会制限により在宅療養を希望する患者もおり、在宅医療の需要は継続して見られた。</p> <p>【課題・今後の方向性】研修等の必要な取組が実施できるよう、オンラインの活用など新たな実施方法の検討が必要である。</p>
	がん医療の充実と療養生活の質の向上	がん医療の充実と療養生活の質の向上	在宅医療の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●がん患者のアピランスケア支援</li> <li>・医療関係者を対象とした緩和ケア研修会の開催</li> <li>・緩和ケアチームの活動</li> </ul>	<p>【成果】アピランスケア支援を実施する団体が増えた。患者の声からも緩和ケアについての市民の理解は深まってきている。</p> <p>【課題・今後の方向性】コロナ禍においても医療従事者に向けた研修会等を実施できる体制づくりが必要である。</p>
			緩和ケアの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>●がんゲノム医療 体制整備・実施</li> <li>●コミュニケーションに特化した研修会の開催</li> <li>・がん相談支援センターやがんサロンによる相談支援体制の充実</li> <li>・市内のがん診療連携拠点病院（3病院）でのがん患者就労相談の実施</li> <li>・コールセンターや相談ダイヤルの設置</li> </ul>	<p>【成果】電話相談や個別相談を継続し、昨年度から相談件数が増加した団体も見られた。相談では社会との繋がりへの不安について精神的なサポートの必要性も認められた。</p> <p>【課題・今後の方向性】各団体の成果の共有が重要である。</p>
	がん患者等の支援の充実	がん患者の状況に応じた支援体制の充実	相談支援体制の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●在宅医療支援薬局リストの改訂</li> <li>・市民を対象にしたイベントや講演会の開催</li> <li>・医療関係者に対する研修・勉強会の開催</li> <li>・がん相談やがんサロンの開催</li> <li>・啓発物の掲示・配布、ホームページ活用等による情報提供</li> </ul>	<p>【成果】集合のイベント等での情報発信の機会は減ってしまったが、掲示やインターネットを活用し情報提供を継続することができた。</p> <p>【課題・今後の方向性】様々な事情を抱えた方に情報が行き渡るよう複数の方法を組み合わせ情報発信を行う必要がある。</p>
			情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・癌治療における薬薬連携体制の構築</li> <li>・就労相談会の開催</li> <li>・市ホームページに市内の就労相談窓口の情報をまとめた「がん患者さんの就労相談窓口一覧」を掲載</li> </ul>	<p>【成果】がん治療に関連する様々な職種の方が関わる「さいたま地域連携Network」が構築され、今後のがん患者に対する連携推進に向けた足がかりができた。社会保険労務士等の専門家による就労相談は患者からも安心感が得られると好評である。</p> <p>【課題・今後の方向性】患者のニーズに合わせ、関係する市内事業所等との連携を推進させる必要がある。</p>

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8

(1)基本方針	がんの予防と早期発見の推進
(2)目標	がん予防の推進
(3)分野別施策	がんに関する正しい知識の普及

	令和元年度	令和2年度	令和3年度(予定)
取組事例 ●新規事業 ○継続事業	市民	○月1度の体験者対象おしゃべり会 ○不定期再発転移の方のおしゃべり会 ○体験者対象のイベント各種 ○乳がん体験者の為のヨガ(NYOGA)	●乳がん体験者のための運動教室(エアロ、筋トレ) ○月1度の体験者対象おしゃべり会 ○不定期再発転移の方のおしゃべり会 ○体験者対象のイベント各種 ○乳がん体験者のためのヨガ(NYOGA)
	事業者	○総会等会議にがん検診の受診勧奨等の周知	○総会等会議にがん検診の受診勧奨等の周知
	保健医療関係者	●がん治療時の医科歯科連携を行い、治療に伴う口腔内合併症を予防する ●癌治療における薬薬連携体制の構築 ●外来がん化学療法認定薬剤師の育成 ●各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施(薬物乱用防止、健康フェア) ●がん患者の意思決定を支えるコミュニケーション ●がん患者のアピアランス ●看取りにおける看護の役割 ○「これって…がんなの?~口腔がん~」市民フォーラム ○口腔がんに関する講演 ○口腔がん検診 ○がん化学療法看護 ○がん性疼痛看護 ○がん患者の退院支援と地域連携 ○エンド・オブ・ライフ・ケア ○がん診療連携セミナーの開催 ○がん患者サロン、はなみずき会(ミニレクチャー、座談会) ○告知後の患者支援 ○緩和ケアチーム活動 ○がん相談支援センターの活用 ○緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる ○がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導 ○経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導 ○一般定期健康診断 ○特定業務従事者に対する健康診断 ○特殊健康診断 ○人間ドックの利用費用補助 ○郵送検診の実施 ○緩和ケア研修会の開催 ○化学療法研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成 ○臨床腫瘍学講義の実施 ○看護師特定行為研修の実施 ○公開講座の開催 ○がんサロンの開催 ○セカンドオピニオン外来の開設 ○緩和ケアチームを組織 ○訪問看護師育成プログラム普及 ○教育ステーション事業	●がん患者のアピアランスケア支援 ●がんサバイバー ●他団体や地域におけるイベント等に参加。教育者としての人材育成を行う ○告知後の患者支援 ○緩和ケアチーム活動 ○がん相談支援センターの活用 ○緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる ○がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導 ○経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導 ○がん治療時の医科歯科連携を行い、治療に伴う口腔内合併症を予防する ○がん化学療法看護 ○がん患者のアピアランス ○がん患者の退院支援と地域連携 ○エンド・オブ・ライフ・ケア ○看取りにおける看護の役割 ○口腔がんに関する研修 ○癌治療における薬薬連携体制の構築 ○各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施(薬物乱用防止、健康フェア) ○一般定期健康診断 ○特定業務従事者に対する健康診断 ○特殊健康診断 ○人間ドックの利用費用補助 ○郵送検診の実施 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成 ○臨床腫瘍学講義の実施 ○看護師特定行為研修の実施 ○公開講座の開催 ○がんサロンの開催 ○セカンドオピニオン外来の開設 ○緩和ケアチームを組織 ○訪問看護師育成プログラム普及 ○教育ステーション事業
	●「デトックスヨガ」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施 ●「リフレッシュストレッチ」教室にて、がんについての講話実施 ●区民対象に、がんの患者会の講演会を実施し、がんとがん予防の知識の普及啓発をする ●乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施 ●「がん治療におけるアピアランスケアの現状」講演会の開催 ●さいたま市養護教諭研修会(講師:儀賀理暁先生) ●保健主事研修会(講師:儀賀理暁先生) ●文部科学省主催研修会 参加 ●健康教育(がん教育等)研究委嘱 ●各学校でのがん教育の取組の支援 ●行政情報放映(デジタルサイネージ)	●がん教育出前講座 ●けんこうギャラリーにおいてがん検診の啓発 ●「ふんにつくろう!カンタン朝ごはん」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施 ●「リラックスヨガ」教室にて、がんについての講話実施 ●「みんなあつまれ!親子deたいそう」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施 ●「大人健康倶楽部」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施 ●区役所各課職員におけるピンクリボンの着用による乳がんの啓発 ○がん検診の個別勧奨はがきの送付 ○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨 ○保健学習の実施	●乳がん月間の取り組み(センター職員による乳がん啓発名札の着用、乳がん自己検診法体験による乳がん検診の普及啓発活動) ●区役所ロビーにて、乳がん自己検診法について講話と啓発活動、資料配布 ●健康づくり教室にて、乳がん患者会の講話の機会を設け、若い世代からのがん予防・がん検診の重要性等の意識づけを図る ○がん対策推進講演会 ○がん教育出前講座 ○がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付 ○さいたま市成人式での子宮頸がん検診の啓発 ○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨 ○中央図書館でがん特集コーナーを作成、資料を配架 ○保健学習の実施 ○健康教育(がん教育等)研究委嘱

## さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

●「夏のランチクッキング」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施

- がん対策推進講演会(新型コロナウイルスの影響で中止)
- 健康相談(随時)
- がん精健未受診者フォロー(女性のがん)
- 駅前での啓発活動
- がん検診受診勧奨
- 乳がんについての講話(依頼教育)
- 区民まつりにて、啓発ポスター掲示、チラシ配布、乳がん自己触診体験(台風のため中止)
- PTA連合会総会にて検診受診勧奨およびがん知識の啓発
- 岩槻駅改札前通路にてポスター掲示
- 保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発
- がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付
- 市報、催事情報、自治会回覧等での啓発・受診勧奨
- さいたま市成人式での子宮頸がん検診の啓発
- 精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨
- 中央図書館でがん特集コーナーを作成、資料を配架
- 保健学習の実施
- 健康クイズラリーにおいてがん検診の啓発、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定
- 健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定
- 子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験
- がん検診精密検査未受診者フォロー(乳がん・子宮がん精密検査未受診者)
- 保健センターにて①がん検診ポスターやのぼり旗の設置、②がん検診受診勧奨月間としての掲示の実施
- 【商業施設におけるがん検診受診勧奨】大宮高島屋でのがん検診アナウンス
- 【保健センター教室での指導・啓発活動実施】健康づくり教室等
- 【大宮区主催のイベントでの啓発活動実施】少年少女サッカー教室・区民まつり等
- 【大宮区役所内での開催時に普及啓発実施】食品衛生協会・確定申告会等
- 区役所ロビーの啓発コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置
- 育児相談にて、がん検診等についてのパンフレット配布
- 保健センター窓口で、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するパンフレット・啓発品を配布。
- 保健センター主催健康教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施。
- 乳がん月間に保健センター窓口やプラザウエスト等で、ポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布。
- 保健センター主催健康教室開催時に、女性特有のがんについてのミニ講話を実施。
- 区民ふれあいまつりにて乳がん自己検診法についての啓発。
- 女性の健康週間に保健センター窓口等で、パンフレット・啓発品を配布。
- 各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発
- 区内幼稚園の保護者向け教育で、乳がん自己触診について普及啓発、がん検診の受診勧奨
- 区内小中学校の保護者向け教育で、乳がん自己触診について普及啓発、がん検診の受診勧奨
- 浦和区健康まつりにて、がんの早期発見の普及、受動喫煙防止の啓発
- 女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、がん検診の普及啓発
- 保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発
- 地区依頼教育での乳がん検診(自己検診法を含む)の説明
- イベントにおけるがん検診及び禁煙に関する情報提供
- 庁舎内の健康啓発コーナーにおける、がん検診受診に関する啓発媒体の展示
- 禁煙相談の実施
- 体組成測定会でがん予防・検診PRコーナーの設置
- 成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義
- 緑区区民まつりにてがん検診に関するポスターやリーフレットの掲示と配布など
- ピンクリボン運動
- 児童センター・子育て支援センター依頼教育にて、乳がん自己検診法について講話実施

市

- 健康教育(がん教育等)研究委嘱
- 各学校でのがん教育の取組の支援
- 文部科学省主催研修会 参加
- がん検診受診勧奨
- がん精健未受診者フォロー(女性のがん)
- 健康相談(随時)
- エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示・チラシの配布
- がん検診精密検査未受診者フォロー(乳がん・子宮がん精密検査未受診者)
- 区報によるがん検診受診勧奨・正しい知識の啓発
- がん検診ポスターや横断幕の設置
- 健康教室での教育・啓発活動
- 大宮区役所内でのチラシ配布・パネル設置などの普及啓発
- 教室中でのがん検診受診勧奨
- 展示コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置
- 児童センター依頼教育にて、乳がん自己検診法について講話実施
- 保健センター窓口で、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するパンフレット・啓発品を配布。
- 市報桜区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載。
- 各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発
- 区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発
- 保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発
- がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発
- 女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、子宮がん検診の普及啓発
- 保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発
- 地区依頼教育での乳がん検診(自己検診法を含む)の説明
- 庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診に関する啓発媒体の展示
- 禁煙相談の実施
- 体組成測定会でがん予防・検診に関するPR
- 成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義
- さいたま市報(緑区版)へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載
- 乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施
- 区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置
- 保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発
- 岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示
- 区主催事業での啓発

- 各学校でのがん教育の取組の支援
- 文部科学省主催研修会参加
- がん検診受診勧奨
- がん精健未受診者フォロー(女性のがん)
- 健康相談(随時)
- 乳がんについての講話(依頼教育)
- 健康クイズラリーにおいてがん検診の啓発
- エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示・チラシの配布
- 健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定
- 子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験
- けんこうギャラリーにおいてがん検診の啓発
- がん検診精密検査未受診者フォロー(乳がん・子宮がん精密検査未受診者)
- 区報によるがん検診受診勧奨・正しい知識の啓発
- がん検診ポスター等の設置
- 健康教室での教育・啓発活動
- 大宮区主催のイベントでの啓発活動
- 大宮区役所内でのちらし配布・パネル設置などの普及啓発
- 大宮高島屋、大宮区役所での館内放送によるがん検診受診勧奨
- 教室中でのがん検診受診勧奨
- 展示コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置
- 見沼区ふれあいフェアで乳がん自己検診法体験
- 保健センター主催健康教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施
- 保健センター窓口とロビーに、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布
- 市報中央区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載
- 区民まつり参加者にがん検診受診勧奨啓発品配布
- 児童センター依頼教育にて、乳がん自己検診法について講話実施
- 保健センター主催健康教室開催時に、禁煙についてミニ講話を実施
- 禁煙週間に合わせ、保健センター窓口とロビーにポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布
- 市報中央区版に禁煙に関する記事を掲載
- 保健センター窓口で、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するパンフレット・啓発品を配布
- 保健センター主催健康教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施
- 市報桜区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載
- 区民ふれあいまつりにて、がんについての健康クイズを実施
- 体組成測定会にがん検診啓発パンフレットを配布
- がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間に区役所・プラザウエストの階段に、がんに関する健康クイズを掲示
- 各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発
- 区内幼稚園の保護者向け教育で、乳がん自己触診について普及啓発、がん検診の受診勧奨
- 区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発
- 保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発
- 浦和区健康まつりにて、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発
- 女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、子宮がん検診の普及啓発
- 保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発
- 地区依頼教育での乳がん検診(自己検診法を含む)の説明
- 庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示
- 禁煙相談の実施
- 体組成測定会でがん予防・検診受診に関するPR
- 成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義
- 緑区区民まつりにてがん検診に関するポスターやリーフレットの掲示と配布など
- さいたま市報(緑区版)へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載
- 乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施
- 区報へのがん検診受診勧奨と禁煙記事の掲載
- 区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置
- 保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発
- 岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示
- 区民まつりにて、啓発ポスター掲示、チラシ配布、乳がん自己触診体験
- 区主催事業での啓発

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(4) 評価指標		ベースライン	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度
75歳未満のがんの年齢調整死亡率 (人口10万対)	全体 (男性・女性)	79.6 (H25)	下がる	<u>69.53(H30)</u>	<u>67.66(R1)</u>	
	男性	100.3 (H25)	下がる	<u>85.86(H30)</u>	<u>83.17(R1)</u>	
	女性	59.9 (H25)	下がる	<u>54.50(H30)</u>	<u>53.19(R1)</u>	
(モニタリング) SMR(標準化死亡比全国を1としたとき)	男性	0.93 (H20-24)	—	<u>0.95(H26~H30)</u>	<u>0.96(H27~R1)</u>	
	女性	0.95 (H20-24)	—	<u>0.97(H26~H30)</u>	<u>0.97(H27~R1)</u>	
特定健康診査の受診率	35.1% (H26)	60%以上	36.9%(H30)	<u>38.0%(R1)</u>		
特定保健指導の実施率	31.1% (H26)	60%以上	36.4%(H30)	<u>31.1%(R1)</u>		
毎日、三食野菜を食べている人の割合	16歳未満	29.1% (H23)	増える			「さいたま市健康づくり及び食育についての調査」 調査期間: 令和3年6月18日～7月6日
	40～60歳男性	21.7% (H23)	30%以上			
	40～60歳女性	28.2% (H23)	30%以上			
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合	56.6% (H24)	65%以上				
生活習慣のリスクを高める量の飲酒をしている人の割合 (1日当たりの純アルコール摂取量 男性60g 女性20g)	成人男性	4.9% (H24)	2.8%以下			
	成人女性	19.7% (H24)	6.4%以下			
	40歳代男性	8.8% (H24)	4.6%以下			
	50歳代男性	10.0% (H24)	5.8%以下			
	20～30歳代女性	4.6% (H24)	0.2%以下			
1日1時間以上歩く人の割合	男性	34.0% (H24)	44%以上			
	女性	29.0% (H24)	38%以上			
運動習慣のある人の割合(30分、週2回以上の運動を継続している人)	男性	31.0% (H24)	41%以上			
	女性	25.6% (H24)	35%以上			
	20～64歳男性	21.8% (H24)	32%以上			
	20～64歳女性	19.9% (H24)	30%以上			
	65歳以上男性	38.1% (H24)	48%以上			
65歳以上女性	32.9% (H24)	43%以上				
主な成果・課題			<ul style="list-style-type: none"> <li>・アピアランスケアに関する講演会の開催や、がん教育に関する取組等の新しい取組が多く実施されている。</li> <li>・啓発品の掲示や配布、区民まつり等のイベント開催に伴う周知により、幅広い世代にがん予防・検診等に関する正しい知識の普及を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合形式のイベントは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止を余儀なくされるものが多かった。規模を縮小したりオンラインを活用するなど、各団体とも工夫を凝らし、活動を継続した。</li> <li>オンラインの活用については、遠方にいる方が参加できるようになる新たな成果が見られ、コロナ終息後も継続が望まれる一方、開催側、参加者側ともにハードの整備やICTに対する知識の習得といった課題も生じている。</li> </ul>		

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針	がんの予防と早期発見の推進			
(2)目標	がん予防の推進			
(3)分野別施策	受動喫煙の防止と禁煙			
		<b>令和元年度</b>	<b>令和2年度</b>	<b>令和3年度(予定)</b>
<b>取組事例</b>  <b>●新規事業</b>  <b>○継続事業</b>	市民			
	事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国労働衛生週間及び同準備期間における周知</li> <li>○労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国労働衛生週間及び同準備期間における周知</li> <li>○労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知</li> </ul>
	保健医療関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○病院内および敷地内の全面禁煙</li> <li>○職場巡視における喫煙状況調査の実施</li> <li>○敷地内全面禁煙</li> <li>○禁煙外来の開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○病院内および敷地内の全面禁煙</li> <li>○職場巡視における喫煙状況調査の実施</li> <li>○敷地内全面禁煙</li> <li>○禁煙外来の開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○病院内および敷地内の全面禁煙</li> <li>○職場巡視における喫煙状況調査の実施</li> <li>○敷地内全面禁煙</li> <li>○禁煙外来の開設</li> <li>○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充</li> <li>○各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施(薬物乱用防止、健康フェア)</li> </ul>
	市	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「デトックスヨガ」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施</li> <li>●「夏のランチクッキング」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施</li> <li>○がん検診受診勧奨</li> <li>○保健学習の実施</li> <li>○健康クイズラリーにおいてがん検診の啓発、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定</li> <li>○健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定</li> <li>○子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験</li> <li>○禁煙週間の取り組み(特設コーナーの設置、広報誌・ポスター等による普及啓発、受動喫煙防止の普及啓発活動)</li> <li>○呼気一酸化炭素濃度測定・禁煙相談</li> <li>○禁煙週間に保健センター窓口やプラザウエスト等で、ポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布。区役所内エレベーター・階段で健康クイズを掲示。保健センターで希望者にスモーカーライザーによる測定を実施。</li> <li>○保健センター主催健康教室開催時に、禁煙についてミニ講話を実施。</li> <li>○市報桜区版に桜区の禁煙状況や禁煙についての記事を掲載。</li> <li>○各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発</li> <li>○区内幼稚園の保護者向け教育で、乳がん自己触診について普及啓発、がん検診の受診勧奨</li> <li>○区内小中学校の保護者向け教育で、乳がん自己触診について普及啓発、がん検診の受診勧奨</li> <li>○浦和区健康まつりにて、がんの早期発見の普及、受動喫煙防止の啓発</li> <li>○保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発</li> <li>○イベントにおけるがん検診及び禁煙に関する情報提供</li> <li>○禁煙相談の実施</li> <li>○体組成測定会でのがん予防・検診PRコーナーの設置</li> <li>○受動喫煙に関する啓発(DVD上映、ポケットティッシュ配布等)</li> <li>○血圧測定コーナー(区民課前)へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置</li> <li>○区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置</li> <li>○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発</li> <li>○岩槻駅改札前通路にて禁煙啓発ポスター掲示</li> <li>○PTA連合会総会にて検診受診勧奨およびがん知識の啓発</li> <li>○区民まつりにて、啓発ポスター掲示、チラシ配布、乳がん自己触診体験(台風のため中止)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●がん教育出前講座</li> <li>●公用自転車に受動喫煙のポスターを張り付け普及啓発を実施</li> <li>●「パパにつくろう！カンタン朝ごはん」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施</li> <li>●「みんなあつまれ！親子deたいそう」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施</li> <li>●「大人健康倶楽部」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施</li> <li>○禁煙外来リスト配布及び第3版の作成</li> <li>○保健学習の実施</li> <li>○がん検診受診勧奨</li> <li>○禁煙週間の取り組み(特設コーナーの設置、広報誌等による普及啓発、受動喫煙防止の普及啓発活動)</li> <li>○禁煙相談</li> <li>○禁煙週間に保健センター窓口やプラザウエスト等で、ポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布、区役所内エレベーター・階段で健康クイズを掲示</li> <li>○市報桜区版に禁煙の効果についての記事を掲載</li> <li>○各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発</li> <li>○区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発</li> <li>○保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発</li> <li>○がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発</li> <li>○保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発</li> <li>○地区依頼教育での乳がん検診(自己検診法を含む)の説明</li> <li>○庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診に関する啓発媒体の展示</li> <li>○サウスピア7階の窓ガラス(武蔵浦和駅側)に、禁煙を促すキャッチコピーを掲示</li> <li>○禁煙相談の実施</li> <li>○体組成測定会でのがん予防・検診に関するPR</li> <li>○禁煙に関する啓発(母子健康手帳交付時のポケットティッシュ配布・自転車のカゴに禁煙を促す看板を設置する等)</li> <li>○血圧測定コーナー(区民課前)へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置</li> <li>○区報へのがん検診受診勧奨と禁煙記事の掲載</li> <li>○区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置</li> <li>○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発</li> <li>○岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示</li> <li>○区主催事業での啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康づくり教室にて、乳がん患者会の講話の機会を設け、若い世代からのがん予防・がん検診の重要性等の意識づけを図る</li> <li>○がん教育出前講座</li> <li>○保健学習の実施</li> <li>○がん検診受診勧奨</li> <li>○健康クイズラリーにおいてがん検診の啓発</li> <li>○健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定</li> <li>○子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験</li> <li>○公用自転車に受動喫煙のポスターを張り付け普及啓発を実施</li> <li>○禁煙週間の取り組み(特設コーナーの設置、広報誌等による普及啓発、受動喫煙防止の普及啓発活動)</li> <li>○保健センター主催教室開催時に、禁煙についてミニ講話を実施</li> <li>○禁煙週間に合わせ、保健センター窓口とロビーにポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布</li> <li>○市報中央区版に禁煙に関する記事を掲載</li> <li>○禁煙週間に保健センター窓口やプラザウエスト等で、ポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布。区役所内エレベーター・階段で健康クイズを掲示</li> <li>○体組成測定会での禁煙に関するパンフレット等の配布</li> <li>○市報桜区版に禁煙の効果についての記事を掲載</li> <li>○各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発</li> <li>○区内幼稚園の保護者向け教育で、乳がん自己触診について普及啓発、がん検診の受診勧奨</li> <li>○区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発</li> <li>○保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発</li> <li>○浦和区健康まつりにて、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発</li> <li>○保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発</li> <li>○地区依頼教育での乳がん検診(自己検診法を含む)の説明</li> <li>○庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示</li> <li>○禁煙相談の実施</li> <li>○受動喫煙に関する啓発(ポケットティッシュ配布等)</li> <li>○血圧測定コーナー(区民課前)へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置</li> <li>○区報へのがん検診受診勧奨と禁煙記事の掲載</li> <li>○区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置</li> <li>○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発</li> <li>○区民まつりにて、啓発ポスター掲示、チラシ配布、乳がん自己触診体験</li> <li>○区主催事業での啓発</li> </ul>

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(4)評価指標		ベースライン	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受動喫煙の機会を有する人の割合	行政機関	2.3% (H24)	0%			「さいたま市健康づくり及び食育についての調査」 調査期間: 令和3年6月18日～7月6日
	医療機関	1.2% (H24)	0%			
	職場	20.5% (H24)	受動喫煙のない職場の実現			
	家庭	17.6% (H24)	3%以下			
	飲食店	36.8% (H24)	15%以下			
	学校	2.7% (H24)	小学校、中学校、高校は0% それ以外は受動喫煙のない環境			
	遊技場	11.5% (H24)	減らす			
成人の喫煙率	成人男性	24.8% (H24)	18%以下			
	成人女性	9.3% (H24)	5%以下			
未成年者の喫煙率		1.5% (H24)	なくす			
主な成果・課題				<p>・健康増進法の一部改正に伴い、受動喫煙防止について市報への情報掲載や街頭キャンペーンの実施、ラジオでの周知、説明会等を通じて市民や市内企業・飲食店に向けて広く周知を行った。</p>	<p>受動喫煙の防止と禁煙について、施設内全面禁煙の取組の他、掲示、市報を利用した方法に加えて教育現場や親子参加型のイベントでの周知が行われ、大人だけでなく幅広い世代に情報発信がされた。 がん教育推進の観点からも、今後も引き続き子ども世代も対象とした取組が求められる。</p>	

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針	がんの予防と早期発見の推進		
(2)目標	がんの早期発見の推進		
(3)分野別施策	がん検診の受診率の向上		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度(予定)
取組事例 ●新規事業 ○継続事業	市民		
	事業者	○総会等会議にがん検診の受診勧奨等の周知	○総会等会議にがん検診の受診勧奨等の周知
	保健医療関係者	○人間ドックの利用費用補助 ○郵送検診の実施 ○公開講座の開催 ○口腔がん検診 ○がん検診の実施及び受診勧奨	○人間ドックの利用費用補助 ○郵送検診の実施 ○公開講座の開催 ○がん検診の実施及び受診勧奨
	市	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「デトックスヨガ」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施</li> <li>●「リフレッシュストレッチ」教室にて、がんについての講話実施</li> <li>●区民対象に、がんの患者会の講演会を実施し、がんとがん予防の知識の普及啓発をする</li> <li>●乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施</li> <li>●行政情報放映(デジタルサイネージ)</li> <li>●「夏のランチクッキング」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施</li> <li>●サウスピア7階の窓ガラス(武蔵浦和駅側)に、がん検診受診を促すキャッチコピーを掲示</li> <li>○健康相談(随時)</li> <li>○がん精健未受診者フォロー(女性のがん)</li> <li>○駅前での啓発活動</li> <li>○がん検診受診勧奨</li> <li>○乳がんについての講話(依頼教育)</li> <li>○区民まつりにて、啓発ポスター掲示、チラシ配布、乳がん自己触診体験(台風のため中止)</li> <li>○PTA連合会総会にて検診受診勧奨およびがん知識の啓発</li> <li>○岩槻駅改札前通路にてポスター掲示</li> <li>○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発</li> <li>○がん検診対象初年度無料事業制度の実施</li> <li>○がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付</li> <li>○市報、催事情報、自治会回覧等での啓発・受診勧奨</li> <li>○さいたま市成人式での子宮頸がん検診の啓発</li> <li>○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨</li> <li>○中央図書館でがん特集コーナーを作成、資料を配架</li> <li>○健康クイズラリーにおいてがん検診の啓発、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定</li> <li>○育児学級・離乳食教室でがん検診受診勧奨のポケットティッシュ配布</li> <li>○エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示・チラシの配布</li> <li>○健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定</li> <li>○子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験</li> <li>○がん検診精密検査未受診者フォロー(乳がん・子宮がん精密検査未受診者)</li> <li>○保健センターにて①がん検診ポスターやのぼり旗の設置、②がん検診受診勧奨月間としての掲示の実施</li> <li>○【商業施設におけるがん検診受診勧奨】大宮高島屋でのがん検診アナウンス</li> <li>○【保健センター教室での指導・啓発活動実施】健康づくり教室等</li> <li>○【大宮区主催のイベントでの啓発活動実施】少年少女サッカー教室・区民まつり等</li> <li>○【大宮区役所内での開催時に普及啓発実施】食品衛生協会・確定申告会等</li> <li>○教室の中でのがん検診受診勧奨</li> <li>○ポケットティッシュの配布</li> <li>○区役所ロビーの啓発コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置</li> <li>○がん検診の啓発品(ボールペン等)の作成・配布</li> <li>○乳がん自己検診法体験、乳がん予防の普及啓発</li> <li>○育児相談にて、がん検診等についてのパンフレット配布</li> <li>○児童センター・子育て支援センター依頼教育にて、乳がん自己検診法について講話実施</li> <li>○がん検診受診勧奨用チラシ配布</li> <li>○がん検診受診勧奨啓発品配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●がん教育出前講座</li> <li>●けんこうギャラリーにおいてがん検診の啓発</li> <li>●「ババにつくろう！カンタン朝ごはん」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施</li> <li>●「リラックスヨガ」教室にて、がんについての講話実施</li> <li>●「みんなあつまれ！親子deたいそう」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施</li> <li>●「大人健康倶楽部」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施</li> <li>●区役所各課職員におけるピンクリボンの着用による乳がんの啓発</li> <li>○がん対策推進講演会</li> <li>○がん検診対象初年度無料事業制度の実施</li> <li>○がん検診の個別勧奨はがきの送付</li> <li>○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨</li> <li>○がん検診受診勧奨</li> <li>○がん精健未受診者フォロー(女性のがん)</li> <li>○健康相談(随時)</li> <li>○育児学級・離乳食教室でがん検診受診勧奨のポケットティッシュ配布</li> <li>○エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示・チラシの配布</li> <li>○がん検診精密検査未受診者フォロー(乳がん・子宮がん精密検査未受診者)</li> <li>○区報によるがん検診受診勧奨・正しい知識の啓発</li> <li>○がん検診ポスターや横断幕の設置</li> <li>○健康教室での教育・啓発活動</li> <li>○大宮区役所内でのチラシ配布・パネル設置などの普及啓発</li> <li>○教室の中でのがん検診受診勧奨</li> <li>○ポケットティッシュの配布</li> <li>○展示コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置</li> <li>○がん検診の啓発品(ボールペン・ハンカチ等)の作成・配布</li> <li>○児童センター依頼教育にて、乳がん自己検診法について講話実施</li> <li>○保健センター窓口で、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するパンフレット・啓発品を配布。</li> <li>○市報桜区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載。</li> <li>○各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発</li> <li>○区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発</li> <li>○保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発</li> <li>○がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発</li> <li>○女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、子宮がん検診の普及啓発</li> <li>○保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発</li> <li>○地区依頼教育での乳がん検診(自己検診法を含む)の説明</li> <li>○庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診に関する啓発媒体の展示</li> <li>○体組成測定会でがん予防・検診に関するPR</li> <li>○成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義</li> <li>○血圧測定コーナー(区民課前)へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置</li> <li>○さいたま市報(緑区版)へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載</li> <li>○乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施</li> <li>○区報へのがん検診受診勧奨と禁煙記事の掲載</li> <li>○区内各施設にて、がん検診受診勧奨ポスターの掲示</li> <li>○区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置</li> <li>○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発</li> </ul>

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

○保健センター窓口で、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するパンフレット・啓発品を配布。  
 ○保健センター主催健康教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施。  
 ○市報桜区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載。  
 ○乳がん月間に保健センター窓口やプラザウエスト等で、ポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布。  
 ○保健センター主催健康教室開催時に、女性特有のがんについてのミニ講話を実施。  
 ○区民ふれあいまつりにて乳がん自己検診法についての啓発。  
 ○女性の健康週間に保健センター窓口等で、パンフレット・啓発品を配布。  
 ○市報桜区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載。  
 ○各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発  
 ○区内幼稚園の保護者向け教育で、乳がん自己触診について普及啓発、がん検診の受診勧奨  
 ○区内小中学校の保護者向け教育で、乳がん自己触診について普及啓発、がん検診の受診勧奨  
 ○浦和区健康まつりにて、がんの早期発見の普及、受動喫煙防止の啓発  
 ○女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、がん検診の普及啓発  
 ○保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発  
 ○地区依頼教育での乳がん検診(自己検診法を含む)の説明  
 ○イベントにおけるがん検診及び禁煙に関する情報提供  
 ○庁舎内の健康啓発コーナーにおける、がん検診受診に関する啓発媒体の展示  
 ○体組成測定会でがん予防・検診PRコーナーの設置  
 ○成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義  
 ○血圧測定コーナー(区民課前)へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置  
 ○緑区区民まつりにて、啓発ポスター掲示、チラシ配布、乳がん自己触診体験など

○岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示  
 ○区主催事業での啓発

○区内幼稚園の保護者向け教育で、乳がん自己触診について普及啓発、がん検診の受診勧奨  
 ○区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発  
 ○保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発  
 ○浦和区健康まつりにて、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発  
 ○女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、子宮がん検診の普及啓発  
 ○保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発  
 ○地区依頼教育での乳がん検診(自己検診法を含む)の説明  
 ○庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示  
 ○体組成測定会でがん予防・検診受診に関するPR  
 ○成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義  
 ○血圧測定コーナー(区民課前)へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置  
 ○緑区区民まつりにて、啓発ポスターやリーフレットの掲示と配布など  
 ○さいたま市報(緑区版)へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載  
 ○乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施  
 ○区報へのがん検診受診勧奨と禁煙記事の掲載  
 ○区内各施設にて、がん検診受診勧奨ポスターの掲示  
 ○区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置  
 ○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発  
 ○岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示  
 ○区民まつりにて、啓発ポスター掲示、チラシ配布、乳がん自己触診体験  
 ○区主催事業での啓発

(4) 評価指標		ベースライン	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度
がん検診受診率	肺がん検診	33.8% (H26)	40%以上	33.2%	28.5%	
	大腸がん検診	31.1% (H26)	40%以上	29.4%	25.1%	
	胃がん検診	23.9% (H26)	40%以上	24.1%	19.8%	
	乳がん検診	23.6% (H26)	40%以上	22.5%	19.1%	
	子宮がん検診	30.3% (H26)	40%以上	28.0%	26.7%	
主な成果・課題				<p>・がん予防・検診に関する情報について、講演会や教室での講話、啓発品の設置・配布、はがきでの個別勧奨、デジタルサイネージの活用等により周知を図っている。</p> <p>・引き続き、がん検診受診率の目標値達成に向けて、未受診者への啓発を実施していく必要がある。</p>	<p>検診費用の補助や啓発品による周知等、前年度からの継続的な取組が実施されていたが、いずれの検診も受診率が低下した。</p> <p>コロナ禍においても、感染防止対策を講じたり郵送検診を実施したりするなど受診しやすい環境を整備するとともにがんの早期発見の重要性を唱え、受診を促す必要がある。</p>	

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針		がんの予防と早期発見の推進				
(2)目標		がんの早期発見の推進				
(3)分野別施策		がん検診の質の向上				
		令和元年度		令和2年度	令和3年度(予定)	
取組事例 ●新規事業 ○継続事業	市民					
	事業者					
	保健医療関係者	○がん検診の実施及び受診勧奨		○がん検診の実施及び受診勧奨	○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充 ○がん検診の実施及び受診勧奨	
	市	○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨 ○がん検診精密検査未受診者フォロー(乳がん・子宮がん精密検査未受診者) ○【保健センター教室での指導・啓発活動実施】健康づくり教室等 ○がん精健未受診者フォロー(女性のがん)		○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨 ○がん検診精密検査未受診者フォロー(乳がん・子宮がん精密検査未受診者)	○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨 ○がん検診精密検査未受診者フォロー(乳がん・子宮がん精密検査未受診者)	
(4)評価指標	ベースライン	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
がん検診精密検査受診者の割合	肺がん検診	77.5%(H25)	90%以上	80.0%(H30)	<u>80.4%(R1)</u>	
	大腸がん検診	68.36%(H25)	90%以上	65.9%(H30)	<u>68.0%(R1)</u>	
	胃がん検診	79.09%(H25)	90%以上	95.1%(H30)	<u>95.7%(R1)</u>	
	乳がん検診	90.43%(H25)	90%以上	88.9%(H30)	<u>91.5%(R1)</u>	
	子宮がん検診	73.2%(H25)	90%以上	82.1%(H30)	<u>78.6%(R1)</u>	
主な成果・課題		<p>・胃がん検診は目標数値を達成し、乳がん検診も90%近くの受診率になっている。他部位の精検受診率向上のため、引き続き対象者への個別勧奨や、未受診者フォローを行っていく必要がある。</p>		<p>子宮がん検診が低下したように感じられるが、ベースラインの73.2%から比較すると長期的には増加の傾向にある。これまでの実績と同様、部位により精密検査受診率に差が見られるため、特に受診率の低いものをターゲットとした指導・啓発活動の強化について検討の必要がある。</p>		

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針	がん医療の充実と療養生活の質の向上				
(2)目標	がん医療の充実と療養生活の質の向上				
(3)分野別施策	在宅医療の推進				
取組事例 ●新規事業 ○継続事業	市民		令和元年度	令和2年度	令和3年度(予定)
	事業者				
	保健医療関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●癌治療における薬薬連携体制の構築</li> <li>●外来がん化学療法認定薬剤師の育成</li> <li>●看取りにおける看護の役割</li> <li>○訪問看護師育成プログラム普及</li> <li>○訪問看護ST経営サポート</li> <li>○コールセンターの設置・運営</li> <li>○退院調整看護師の活用</li> <li>○さいたま浦和地区緩和医療研究会を介しての地域連携</li> <li>○緩和ケア研修会の開催</li> <li>○私学事業団健康相談ダイヤル</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○がんサロンの開催</li> <li>○在宅におけるがん診療・緩和医療の推進</li> <li>○在宅医療・介護連携推進事業</li> <li>○浦和在宅医療支援相談センターを通じたがん患者への在宅医療</li> <li>○さいたま浦和地区緩和医療研究会にて、在宅医療・介護・福祉職と病院医療職間(多職種間)での合同研修会を実施</li> <li>○令和元年度埼玉県立がんセンター緩和ケア研修会の受講推進</li> <li>○「第17回見沼区包括ケア勉強会」において在宅緩和ケア・介護連携に関する研修会を開催</li> <li>○在宅緩和ケアに関する研修会の開催</li> <li>○訪問看護ステーション体験実習</li> <li>○教育ステーション事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○退院調整看護師の活用</li> <li>○さいたま浦和地区緩和医療研究会を介しての地域連携</li> <li>○がん患者の退院支援と地域連携</li> <li>○看とりにおける看護の役割</li> <li>○癌治療における薬薬連携体制の構築</li> <li>○私学事業団健康相談ダイヤル</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○がんサロンの開催</li> <li>○浦和在宅医療支援相談センターを通じたがん患者への在宅医療</li> <li>○在宅医療・緩和ケアに関する研修会の開催</li> <li>○訪問看護師育成プログラム普及</li> <li>○訪問看護ステーション体験実習</li> <li>○訪問看護ST経営サポート</li> <li>○コールセンターの設置・運営</li> <li>○教育ステーション事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●癌に関する専門薬剤師の育成</li> <li>○緩和ケア研修会の開催</li> <li>○私学事業団健康相談ダイヤル</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○がんサロンの開催</li> <li>○退院調整看護師の活用</li> <li>○さいたま浦和地区緩和医療研究会を介しての地域連携</li> <li>○癌治療における薬薬連携体制の構築</li> <li>○在宅医療支援薬局リストの改訂</li> <li>○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充</li> <li>○訪問看護師育成プログラム普及</li> <li>○訪問看護ステーション体験実習</li> <li>○訪問看護ST経営サポート</li> <li>○コールセンターの設置・運営</li> <li>○教育ステーション事業</li> <li>○浦和在宅医療支援相談センターを通じたがん患者への在宅医療</li> <li>○在宅医療・緩和ケアに関する研修会の開催</li> </ul>	
	市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討</li> <li>○医療・介護関係者の研修</li> <li>○地域住民への普及啓発</li> <li>○医療・介護関係者の情報共有の支援</li> <li>○切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進</li> <li>○がん対策推進講演会(新型コロナウイルスの影響で中止)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●在宅医療・介護連携に関する相談支援</li> <li>○在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討</li> <li>○医療・介護関係者の情報共有の支援</li> <li>○切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業</li> <li>○在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討</li> <li>○医療・介護関係者の研修</li> <li>○地域住民への普及啓発</li> <li>○医療・介護関係者の情報共有の支援</li> <li>○切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進</li> <li>○在宅医療・介護連携に関する相談支援</li> </ul>	
(4)評価指標	ベースライン	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度
(モニタリング)在宅療養支援診療所・病院数	70(H25)	—	185	212	
(モニタリング)がん患者の在宅看取り率	12.3(H25)	—	19.6(H30)	21.2(R1)	
在宅療養を支える関係機関における研修や会議等を開催する団体数	—	増える	8	7	
主な成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療の推進に伴い、看取り・緩和ケアの役割が重要となってきているため、研修等を通して薬剤師や看護師等の育成が行われている。</li> <li>・研修等を通じて医療、介護、福祉分野の多職種間で情報共有を図り、相互の連携を強めている。</li> </ul>			<p>新型コロナウイルス感染防止のため、在宅医療、介護についての集合形式の研修や普及啓発活動が見送られる一方で、病院や施設で面会制限が設けられたことから在宅療養を希望する患者もおり、在宅医療の需要はコロナ禍においても継続してあった。</p> <p>今後は集合形式の研修が実施不可の場合でも研修等の必要な取組は実施できるよう、オンラインの活用など新たな方法の模索が課題である。</p>	

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針	がん医療の充実と療養生活の質の向上				
(2)目標	がん医療の充実と療養生活の質の向上				
(3)分野別施策	緩和ケアの充実				
取組事例 ●新規事業 ○継続事業	令和元年度		令和2年度	令和3年度(予定)	
	市民				
	事業者				
	保健医療関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育ステーション事業</li> <li>○緩和ケア研修会の開催</li> <li>○緩和ケアチーム合同カンファレンス</li> <li>○訪問看護ST経営サポート</li> <li>○告知後の患者支援</li> <li>○緩和ケアチーム活動</li> <li>○緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる</li> <li>○がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導</li> <li>○経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導</li> <li>○癌治療に関する薬剤師の研修会</li> <li>○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の育成</li> <li>○緩和ケア研修会の開催</li> <li>○私学事業団健康相談ダイヤル</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○がんサロンの開催</li> <li>○緩和ケアチームを組織</li> <li>○在宅におけるがん診療・緩和医療の推進</li> <li>○がんセンター地域緩和ケア勉強会等の会員周知・受講推進</li> <li>○エンド・オブ・ライフ・ケア</li> <li>○浦和在宅医療支援相談センターを通じたがん患者への在宅医療</li> <li>○さいたま浦和地区緩和医療研究会にて、在宅医療・介護・福祉職と病院医療職間(多職種間)での合同研修会を実施</li> <li>○令和元年度埼玉県立がんセンター緩和ケア研修会の受講推進</li> <li>○「第17回見沼区包括ケア勉強会」において在宅緩和ケア・介護連携に関する研修会を開催</li> <li>○在宅緩和ケアに関する研修会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●がん患者のアピアランスケア支援</li> <li>○緩和ケアチーム合同カンファレンス</li> <li>○告知後の患者支援</li> <li>○緩和ケアチーム活動</li> <li>○緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる</li> <li>○がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導</li> <li>○経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導</li> <li>○エンド・オブ・ライフ・ケア</li> <li>○癌治療に関する薬剤師の研修会</li> <li>○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の育成</li> <li>○緩和ケア研修会の開催</li> <li>○私学事業団健康相談ダイヤル</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○がんサロンの開催</li> <li>○緩和ケアチームを組織</li> <li>○浦和在宅医療支援相談センターを通じたがん患者への在宅医療</li> <li>○在宅医療・緩和ケアに関する研修会の開催</li> <li>○教育ステーション事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●癌に関する専門薬剤師の育成</li> <li>○緩和ケア研修会の開催</li> <li>○緩和ケアチーム合同カンファレンス</li> <li>○私学事業団健康相談ダイヤル</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○がんサロンの開催</li> <li>○緩和ケアチームを組織</li> <li>○告知後の患者支援</li> <li>○緩和ケアチーム活動</li> <li>○緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる</li> <li>○がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導</li> <li>○経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導</li> <li>○がん患者のアピアランスケア支援</li> <li>○癌治療における薬薬連携体制の構築</li> <li>○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充</li> <li>○地域寄り添うためのコミュニケーションに特化した研修会の開催</li> <li>○がん性疼痛看護</li> <li>○教育ステーション事業</li> <li>○浦和在宅医療支援相談センターを通じたがん患者への在宅医療</li> <li>○在宅医療・緩和ケアに関する研修会の開催</li> </ul>	
市	○がん対策推進講演会(新型コロナウイルスの影響で中止)				
(4)評価指標	ベースライン	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度
院外における活動を実施する緩和ケアチーム数	—	増える	3チーム(市内の地域がん診療連携拠点病院)	3チーム(市内の地域がん診療連携拠点病院)	
主な成果・課題			<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケアチームの活動により、医療における緩和ケアの充実が進んでいる。</li> <li>・緩和ケア、エンド・オブ・ライフ・ケアに関する研修会を通じ、緩和ケアの役割・大切さについて知識を深めている。</li> <li>・引き続き、緩和ケアに関する市民の理解を促進する取組が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>がん患者のアピアランスケア支援を実施する団体が増えた。</li> <li>新型コロナウイルス感染防止のため、緩和ケア研修会等を中止した団体が多かったが、患者から緩和ケアのバッチをつけている医師を見ると安心するという声が聞かれる等、緩和ケアについての市民の理解は深まってきている。</li> <li>今後も継続した緩和ケアに関する市民の理解を促進する取組とともに、コロナ禍においても医療従事者に向けた研修会等を実施できる体制づくりが必要である。</li> </ul>	

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針	がん医療の充実と療養生活の質の向上				
(2)目標	がん患者の状況に応じた支援体制の充実				
(3)分野別施策	相談支援体制の活用				
取組事例 ●新規事業 ○継続事業	令和元年度		令和2年度	令和3年度(予定)	
	市民				
	事業者				
	保健医療関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育ステーション事業</li> <li>○がん相談</li> <li>○がんサロン・アピアランスケア</li> <li>○社会保険労務士およびファイナンシャルプランナーによる仕事と家計の相談会(就労支援)</li> <li>○訪問看護師育成プログラム普及</li> <li>○訪問看護ST経営サポート</li> <li>○コールセンターの設置・運営</li> <li>○がん患者サロン、はなみずき会(ミニレクチャー、座談会)</li> <li>○がん相談支援センターの活用</li> <li>○就労支援</li> <li>○緩和ケア研修会の開催</li> <li>○私学事業団健康相談ダイヤル</li> <li>○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成</li> <li>○公開講座の開催</li> <li>○がんサロンの開催</li> <li>○おしごと継続・就労相談会の開催</li> <li>○緩和ケア研修会の開催(再掲)</li> <li>○がん相談支援センターの開設</li> <li>○セカンドオピニオン外来の開設</li> <li>○緩和ケアチームを組織</li> <li>○がん診療連携拠点病院との連携</li> <li>○浦和在宅医療支援相談センターを通じたがん患者への在宅医療</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●がんゲノム医療 体制整備・実施</li> <li>●他団体や地域におけるイベント等に参加。教育者としての人材育成を行う</li> <li>●地域寄り添うためのコミュニケーションに特化した研修会の開催</li> <li>○がん相談</li> <li>○アピアランスケア</li> <li>○社会保険労務士およびファイナンシャルプランナーによる仕事と家計の相談会(就労支援)</li> <li>○がん相談支援センターの活用</li> <li>○就労支援</li> <li>○各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施(薬物乱用防止、健康フェア)</li> <li>○私学事業団健康相談ダイヤル</li> <li>○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成</li> <li>○公開講座の開催</li> <li>○がんサロンの開催</li> <li>○おしごと継続・就労相談会の開催</li> <li>○がん相談支援センターの開設</li> <li>○セカンドオピニオン外来の開設</li> <li>○緩和ケアチームを組織</li> <li>○浦和在宅医療支援相談センターを通じたがん患者への在宅医療</li> <li>○コールセンターの設置・運営</li> <li>○教育ステーション事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●癌に関する専門薬剤師の育成</li> <li>○がん相談</li> <li>○がんサロン・アピアランスケア</li> <li>○社会保険労務士およびファイナンシャルプランナーによる仕事と家計の相談会(就労支援)</li> <li>○がんゲノム医療</li> <li>○緩和ケア研修会の開催</li> <li>○私学事業団健康相談ダイヤル</li> <li>○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○公開講座の開催</li> <li>○がんサロンの開催</li> <li>○おしごと継続・就労相談会の開催</li> <li>○がん相談支援センターの開設</li> <li>○セカンドオピニオン外来の開設</li> <li>○緩和ケアチームを組織</li> <li>○がん患者サロン、はなみずき会(ミニレクチャー、座談会)</li> <li>○がん相談支援センターの活用</li> <li>○就労支援</li> <li>○癌治療における薬薬連携体制の構築</li> <li>○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充</li> <li>○各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施(薬物乱用防止、健康フェア)</li> <li>○地域寄り添うためのコミュニケーションに特化した研修会の開催</li> <li>○コールセンターの設置・運営</li> <li>○教育ステーション事業</li> <li>○浦和在宅医療支援相談センターを通じたがん患者への在宅医療</li> </ul>	
市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健センターにて①がん検診ポスターやのぼり旗の設置、②がん検診受診勧奨月間としての掲示の実施</li> <li>○がん精健未受診者フォロー(女性のがん)</li> <li>○健康相談(随時)</li> <li>○がん患者就労相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○がん患者就労相談</li> <li>○がん精健未受診者フォロー(女性のがん)</li> <li>○健康相談(随時)</li> <li>○がん検診ポスターや横断幕の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○がん精健未受診者フォロー(女性のがん)</li> <li>○健康相談(随時)</li> <li>○がん検診ポスター等の設置</li> </ul>		
(4)評価指標	ベースライン	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地域(全国)がん登録により明らかになった罹患率及び生存率等の情報提供の実施状況	—	実施する	地域がん登録の情報について埼玉県がまとめた「埼玉県のがん2015」について、市ホームページで情報提供を実施。	地域がん登録の情報について埼玉県がまとめた「埼玉県のがん2016」について、市ホームページで情報提供を実施。	
主な成果・課題			<p>市内のがん診療連携拠点病院でがん患者の就労相談が実施されている。また、アピアランスケアについても相談が受けられるような体制づくりが進んでいる。</p> <p>市民に向けて、がん相談支援センターの機能や活用方法、がんサロン等のがん患者が情報共有できる場所について啓発が必要。</p>	<p>新型コロナウイルス感染防止のため、がんサロンや就労相談会を中止した団体が多かったが、電話相談や個別相談を継続し、昨年度より相談件数が増加した団体も見られた。相談内容は就労相談やアピアランスケアの他、社会との繋がりへの不安について精神的なサポートの必要性も認められた。</p> <p>患者のニーズに合った相談支援体制を確立するため、各団体の成果の共有が重要である。</p>	

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針	がん医療の充実と療養生活の質の向上				
(2)目標	がん患者の状況に応じた支援体制の充実				
(3)分野別施策	情報提供の充実				
取組事例 ●新規事業 ○継続事業	市民		令和元年度	令和2年度	令和3年度(予定)
	事業者		○全国労働衛生週間及び同準備期間における周知 ○労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知	○全国労働衛生週間及び同準備期間における周知 ○労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知	○全国労働衛生週間及び同準備期間における周知 ○労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知
	保健医療関係者		●各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施(薬物乱用防止、健康フェア) ○教育ステーション事業 ○がん患者・家族向けのがん冊子の無料提供、インターネット環境、図書の整備 ○訪問看護ステーション体験実習 ○コールセンターの設置・運営 ○就労支援 ○在宅医療支援薬局リストの広報活動 ○緩和ケア研修会の開催 ○化学療法研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成 ○臨床腫瘍学講義の実施 ○看護師特定行為研修の実施 ○公開講座の開催 ○がんサロンの開催 ○おしごと継続・就労相談会の開催 ○緩和ケア研修会の開催(再掲) ○院内がん登録の公表 ○がん相談支援センターの開設 ○セカンドオピニオン外来の開設 ○緩和ケアチームを組織	●がんゲノム医療 体制整備・実施 ●がん患者のアピアランスケア支援 ●在宅医療支援薬局リストの改訂 ●他団体や地域におけるイベント等に参加。教育者としての人材育成を行う ○がん相談 ○アピアランスケア ○社会保険労務士およびファイナンシャルプランナーによる仕事と家計の相談会(就労支援) ○がん患者・家族向けのがん冊子の無料提供、インターネット環境、図書の整備 ○就労支援 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成 ○臨床腫瘍学講義の実施 ○看護師特定行為研修の実施 ○公開講座の開催 ○がんサロンの開催 ○おしごと継続・就労相談会の開催 ○院内がん登録の公表 ○がん相談支援センターの開設 ○セカンドオピニオン外来の開設 ○緩和ケアチームを組織 ○コールセンターの設置・運営 ○教育ステーション事業	●癌に関する専門薬剤師の育成 ●がん治療の最前線 ●がん相談 ○がんサロン・アピアランスケア ○社会保険労務士およびファイナンシャルプランナーによる仕事と家計の相談会(就労支援) ○がん患者・家族向けのがん冊子の無料提供、インターネット環境、図書の整備 ○がんゲノム医療 ○緩和ケア研修会の開催 ○化学療法研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成 ○臨床腫瘍学講義の実施 ○看護師特定行為研修の実施 ○公開講座の開催 ○がんサロンの開催 ○おしごと継続・就労相談会の開催 ○院内がん登録の公表 ○がん相談支援センターの開設 ○セカンドオピニオン外来の開設 ○緩和ケアチームを組織 ○就労支援 ○がん患者のアピアランスケア支援 ○癌治療における薬薬連携体制の構築 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充 ○各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施(薬物乱用防止、健康フェア) ○地域寄り添うためのコミュニケーションに特化した研修会の開催 ○コールセンターの設置・運営 ○教育ステーション事業
	市		●区民対象に、がんの患者会の講演会を実施し、がんとがん予防の知識の普及啓発をする ●「がん治療におけるアピアランスケアの現状」講演会の開催 ○「医療なび」の周知 ○保健センターにて①がん検診ポスターやのぼり旗の設置、②がん検診受診勧奨月間としての掲示の実施 ○【商業施設におけるがん検診受診勧奨】大宮高島屋でのがん検診アナウンス ○【保健センター教室での指導・啓発活動実施】健康づくり教室等 ○【大宮区役所内での開催時に普及啓発実施】食品衛生協会・確定申告会等 ○医療用ウィッグ・サポート店一覧の作成	○医療用ウィッグ・サポート店一覧の掲載 ○「医療なび」の周知 ○がん検診ポスターや横断幕の設置 ○健康教室での教育・啓発活動 ○大宮区役所内でのチラシ配布・パネル設置などの普及啓発 ○区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発 ○保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発 ○がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発	○がん対策推進講演会 ○医療用ウィッグ・サポート店一覧の掲載 ○「医療なび」の周知 ○がん検診ポスター等の設置 ○健康教室での教育・啓発活動 ○大宮区主催のイベントでの啓発活動 ○大宮区役所内でのちらし配布・パネル設置などの普及啓発 ○大宮高島屋、大宮区役所での館内放送によるがん検診受診勧奨 ○区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発 ○保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発 ○浦和区健康まつりにて、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発
(4)評価指標	ベースライン	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度
市ウェブサイト内の「がんに関する情報」のアクセス数	2,834(H27)	増える	2,563(H31)	1,996(R2)	
地域(全国)がん登録により明らかになった罹患率及び生存率等の情報提供の実施状況	—	実施する	地域がん登録の情報について埼玉県がまとめた「埼玉県のがん2015」について、市ホームページで情報提供を実施。	地域がん登録の情報について埼玉県がまとめた「埼玉県のがん2016」について、市ホームページで情報提供を実施。	
主な成果・課題			・医療関係者に対する研修・勉強会を開催することで、市民に向けて正確かつ分かりやすい情報を伝えることにつなげている。 ・市民向けのイベントや講演会の中でがんに関する情報提供に努めている。 ・市内の地域がん診療連携拠点病院で実施している就労相談や、埼玉県が実施している「がんワンストップ相談」、埼玉産業保健総合支援センターの情報を掲載した「がん患者さんの就労相談窓口一覧」を作成し、市ホームページに掲載している。	集合のイベント等での情報発信の機会は減ってしまったが、掲示やインターネットを活用し、情報提供を継続することができた。 外出が困難、インターネットが使えない等、様々な事情を抱えた方に情報が行き渡るよう複数の方法を組み合わせ情報発信を行う必要がある。	

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針	がん医療の充実と療養生活の質の向上				
(2)目標	働く世代へのがん対策の充実				
(3)分野別施策	市内事業所等との連携によるがん対策の充実				
取組事例 ●新規事業 ○継続事業			令和元年度	令和2年度	令和3年度(予定)
	市民				
	事業者				
	保健医療関係者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「地域ケア意見交換会」の開催(患者情報の共有や現状の問題・課題についての意見交換会)</li> <li>●癌治療における薬薬連携体制の構築</li> <li>○教育ステーション事業</li> <li>○訪問看護ステーション体験実習</li> <li>○就労支援</li> <li>○さいたま浦和地区緩和医療研究会を介しての地域連携</li> <li>○人間ドックの利用費用補助</li> <li>○郵送検診の実施</li> <li>○化学療法研修会の開催</li> <li>○私学事業団健康相談ダイヤル</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○公開講座の開催</li> <li>○おしごと継続・就労相談会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「地域ケア意見交換会」の開催(患者情報の共有や現状の問題・課題についての意見交換会)</li> <li>○就労支援</li> <li>○さいたま浦和地区緩和医療研究会を介しての地域連携</li> <li>○癌治療における薬薬連携体制の構築</li> <li>○人間ドックの利用費用補助</li> <li>○郵送検診の実施</li> <li>○看護師特定行為研修の実施</li> <li>○公開講座の開催</li> <li>○おしごと継続・就労相談会の開催</li> <li>○訪問看護ステーション体験実習</li> <li>○教育ステーション事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「地域ケア意見交換会」の開催(患者情報の共有や現状の問題・課題についての意見交換会)</li> <li>○人間ドックの利用費用補助</li> <li>○郵送検診の実施</li> <li>○化学療法研修会の開催</li> <li>○公開講座の開催</li> <li>○おしごと継続・就労相談会の開催</li> <li>○就労支援</li> <li>○さいたま浦和地区緩和医療研究会を介しての地域連携</li> <li>○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充</li> <li>○訪問看護ステーション体験実習</li> <li>○教育ステーション事業</li> <li>○大宮区主催のイベントでの啓発活動</li> <li>○大宮高島屋、大宮区役所での館内放送によるがん検診受診勧奨</li> </ul>	
	市	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区民対象に、がんの患者会の講演会を実施し、がんとがん予防の知識の普及啓発をする</li> <li>○健康クイズラリーにおいてがん検診の啓発、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定</li> <li>○【商業施設におけるがん検診受診勧奨】大宮高島屋でのがん検診アナウンス</li> <li>○がん対策推進講演会(新型コロナウイルスの影響で中止)</li> </ul>	○大宮区役所内でのチラシ配布・パネル設置などの普及啓発		
(4)評価指標	ベースライン	目標値	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業所・従業員への相談支援窓口の案内の機会	-	増える	市内の地域がん診療連携拠点病院で実施している就労相談や、埼玉県が実施している「がんワンストップ相談」、埼玉産業保健総合支援センターの情報を掲載した「がん患者さんの就労相談窓口一覧」を作成し、市ホームページに掲載。また、一覧についてワークジョイへの掲載や、「さいたま健康ネットワーク」加入企業への周知を図った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の地域がん診療連携拠点病院で就労相談を実施。</li> <li>・市HPに埼玉県が実施している「がんワンストップ相談」、埼玉産業保健総合支援センターの情報をまとめた「がん患者さんの就労相談窓口一覧」を掲載。</li> </ul>	
主な成果・課題			<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保険労務士やハローワーク、ファイナンシャルプランナー等の労働分野と協働し、市内の地域がん診療連携拠点病院でがん患者の就労相談が行われている。</li> <li>・埼玉産業保健総合支援センター等と連携し、がん患者の就労支援について事業者や医療関係者に向けて周知していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師、薬剤師、医薬品メーカー等のがん治療に関連する様々な職種の方が関わる「さいたま地域連携Network」が構築され、今後のがん患者に対する連携推進に向けた足がかりができた。社会保険労務士等の専門家による就労相談は患者からも安心感が得られると好評である。</li> <li>今後も患者のニーズに合わせ、関係する市内事業所等との連携を推進させる必要がある。</li> </ul>	

さいたま市がん対策推進計画  
令和2年度 各団体取組シート

## 目 次

## 【市民・事業者】

○Qava! (サヴァ) ～さいたま BEC～	1
○さいたま労働基準監督署	2
○さいたま商工会議所女性会	3

## 【保健医療関係者】

○さいたま赤十字病院	4
○自治医科大学附属さいたま医療センター	7
○さいたま市立病院	11
○さいたま市4医師会連絡協議会	13
○さいたま市歯科医師会	14
○さいたま市薬剤師会	16
○埼玉県看護協会	17
○埼玉県訪問看護ステーション協会	18

## 【市】

○健康増進課	19
○地域医療課	20
○地域保健支援課	21
○いきいき長寿推進課	22
○指導1課	23
○健康教育課	24
○西区役所保健センター	25
○北区役所保健センター	26
○大宮区役所保健センター	27
○見沼区役所保健センター	28
○中央区役所保健センター	29
○桜区役所保健センター	30
○浦和区役所保健センター	31
○南区役所保健センター	32
○緑区役所保健センター	33
○岩槻区役所保健センター	34

# 各団体取組シート

<b>団体名 : Çava! ~さいたまBEC~</b>		<b>令和 2 年度分</b>	
<b>事業名</b>			
①科学的根拠に基づいた知識の普及。 ②体験者が安心して集まれる場所を提供する	分野別 施策 ( 参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
<b>事業の目標</b>		2 受動喫煙の防止と禁煙	
①乳がんと告知された早い時期から、正しい情報がどこにあるのかをおしゃべり会を通し伝えていく事。 ②体験者同士が思いを共有し、孤独感から解放され何かの第一歩となるきっかけを作り、安心して集まれる場所を提供する。		3 がん検診の受診率の向上	
<b>事業の対象者</b>		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
乳がん体験者			
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>			
<b>取組の内容</b>	<b>新規 継続</b>	<b>分野別施策</b> (該当する数字に○)	<b>対象者、実施日時、参加人数など</b>
月1度の体験者対象おしゃべり会	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	第3水曜日 (5、6月→オンライン各3名) 10月~1月 各月3~6名参加
不定期再発転移の方のおしゃべり会	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	2020.11.18 7名
体験者対象のイベント各種	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	(実施せず) イベント情報発信のみ
乳がん体験者の為のヨガ (NYOGA)	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	対面クラス：緊急事態宣言中は中止 オンラインクラス月12回 各30名程度参加
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
<b>取組の成果、感想など</b>	<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>		
コロナの影響は大きいものの、初めて参加の方や治療中でも参加される方がおり、存在意義はあると感じる。コロナ禍だからこそ、リアルで会えることが嬉しいという意見もいただく。ひとりじゃないと感じてもらうことはできていると思う。	対象を患者さんとしているため、外出を控える方が多い。開催しても参加者数は半分程度になっている。代わりに始めたオンラインのNYOGAは県外からの参加もあり、盛況。コロナ終息後も継続希望の声が聞かれる。		

## 各団体取組シート

団体名:さいたま労働基準監督署		令和 2 年度分	
<b>事業名</b> ①労働安全衛生法（受動喫煙防止対策）及び対策助成金制度の周知等 ②「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」の周知等	分野別 施策 ( 参考)	1	がんに関する正しい知識の普及
<b>事業の目標</b>		2	受動喫煙の防止と禁煙
①職場における受動喫煙防止対策を推進し、受動喫煙を受けている労働者の割合の低下を図る。 ②ガイドラインの周知により「治療と職業生活の両立支援を行うための環境整備」を進める。		3	がん検診の受診率の向上
		4	がん検診の質の向上
		5	在宅医療の推進
		6	緩和ケアの充実
		7	相談支援体制の活用
		8	情報提供の充実
		9	市内事業所等との連携によるがん対策の充実
<b>事業の対象者</b>			
管内の事業場			
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>			
浦和地区労働基準協会、大宮地区労働基準協会、埼玉産業保健総合支援センター			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
全国労働衛生週間及び同準備期間における周知	継続	1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	・労働衛生週間（10月1日～7日）、同準備期間（9月）における周知（同週間に係る説明会等を含む）浦和地区及び大宮地区労働基準協会ホームページに資料掲載 ・対象者 事業主、産業保健担当者等
労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知	継続	1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	・年間実施数 1回 ・対象者 事業主、人事労務・産業保健担当者等
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
<b>取組の成果、感想など</b>		<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>	
継続して周知活動を進めることにより、事業主・産業保健担当者の理解を進める必要を感じる。		説明会等は開催できず、会報誌への記事掲載依頼、ホームページへの資料掲載依頼等により、周知活動を実施した。	

各団体取組シート

団体名:さいたま商工会議所女性会		令和 2 年度分	
事業名	がん検診の受診勧奨	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
がん検診の受診勧奨			2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標			3 がん検診の受診率の向上
①会員ががん検診を受けることで、早期発見・早期治療に結びつける。 ②医療用ウィッグの毛髪提供の呼びかけをする。			4 がん検診の質の向上
			5 在宅医療の推進
	6 緩和ケアの充実		
事業の対象者	7 相談支援体制の活用	8 情報提供の充実	9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
女性会会員とその家族			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
総会等会議にがん検診の受診勧奨等の周知	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	会員、会議開催時、約80人
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果、感想など	新型コロナウイルス感染症の影響		
女性会会員には高齢者も多く、検診を受診する者も多い。しかし、今後も継続して周知活動、受診勧奨に努めていく。	会議が中止となる事もあり、周知活動が難しいと感じている。		

# 各団体取組シート

団体名：さいたま赤十字病院		令和 2 年度分		
事業名	分野別 施策 (参考)			1 がんに関する正しい知識の普及
地域がん診療連携拠点病院      がんゲノム医療連携病院				2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標				3 がん検診の受診率の向上
①地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院としての役割を遂行し、がん診療の質向上に寄与する。 ②がん診療における基盤の強化を図るため、緩和ケア研修会への医師受講率90%以上を維持し、がん患者および家族への支援を行う。 ③がん患者が治療を受けながら働ける環境を整えるため、治療と仕事の両立を支援する。				4 がん検診の質の向上
事業の対象者	5 在宅医療の推進			
がん患者・家族、一般市民、来院者、職員				
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体				
前橋赤十字病院、足利赤十字病院、NPO法人がんと暮らしを考える会、アデランス				
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など	
がん診療連携セミナーの開催	継続	①2 3 4 5 6 7 8 9	院内外の医療従事者 2回/年 秋・冬開催予定 約100人/回 2020年10月「がん検診」2021年3月 「がんゲノム」を予定していたが、コ ロナ禍にて開催中止	
病院内および敷地内の全面禁煙	継続	1 ②3 4 5 6 7 8 9	患者・家族・来院者・職員	
緩和ケア研修会の開催	継続	1 2 3 4 5 ⑥7 8 9	院内外の医療従事者 1回/年 11月3日 参加者22名(医師1名、研修医15名、看 護師3名、薬剤師2名、理学療法士1名)	
緩和ケアチーム合同カンファレンス	継続	1 2 3 4 5 ⑥7 8 9	前橋赤十字病院 足利赤十字病院 緩和ケアチーム 9月28日14:00~16:00 当院7名(医師4名、看護師2名、心理士1名) 足利4名(医師1名、看護師2名、薬剤師1名) 前橋4名(医師1名、看護師2名、薬剤師1名) 12月21日14:00~16:00 当院8名(医師2名、看護師3名、心理士1名、栄養 士1名、薬剤師1名) 足利4名(医師1名、看護師2名、薬剤師1名) 前橋4名(医師1名、看護師2名、薬剤師1名) 3月15日14:00~16:00 当院8名(医師4名、看護師2名、心理士1名、栄養 士1名) 足利4名(医師1名、看護師3名) 前橋6名(医師1名、看護師4名、薬剤師1名)	
がん相談	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦⑧ 9	院内外がん患者・家族、一般の方、医療 関係者 月~金曜日(祝日除く) 9:00~16:30 約700件/年	
がんサロン・アピアランスケア	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦⑧ 9	院内外がん患者・家族 毎月第3金曜日 14:00~15:00 アピアランスケアのみ 第1木曜日 14:00~16:00 コロナ禍のため開催中止	
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響		
次シートに記載				

各団体取組シート

団体名:さいたま赤十字病院		令和 2 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及	
地域がん診療連携拠点病院	がんゲノム医療連携病院	分野別 施策 (参考)	2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標			3 がん検診の受診率の向上
①地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院としての役割を遂行し、がん診療の質向上に寄与する。 ②がん診療における基盤の強化を図るため、緩和ケア研修会への医師受講率90%以上を維持し、がん患者および家族への支援を行う。 ③がん患者が治療を受けながら働ける環境を整えるため、治療と仕事の両立を支援する。			4 がん検診の質の向上
事業の対象者	がん患者・家族、一般市民、来院者、職員		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体	前橋赤十字病院、足利赤十字病院、NPO法人がんと暮らしを考える会、アデランス		
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
社会保険労務士およびファイナンシャルプランナーによる仕事と家計の相談会（就労支援）	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦⑧ 9	院内外がん患者・家族 毎月第2水曜日 50分×3枠 ①13:30~14:20 ②14:30~15:20 ③15:30~16:20 13名/年 4月~6月は社会保険労務士とファイナンシャルプランナーの来院は見合わせ、がん相談員が対応 電話相談の対応も実施（コロナ禍以前より、来院が困難な方へも電話相談は実施）
がん患者・家族向けのがん冊子の無料提供、インターネット環境、図書整備	継続	1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	がん患者・家族、一般の方 利用時間：平日8:30~17:00
「地域ケア意見交換会」の開催（患者情報の共有や現状の問題・課題についての意見交換会）	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 ⑨	さいたま市内の在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、基準薬局等の医療従事者の方 コロナ禍にて開催を見合わせていたが、9月より、ZOOMにて再開 下記参加人数内訳（施設数・院外+院内） 9月17日 19名（8施設8名+11名） 10月15日 17名（5施設6名+11名） 11月19日 16名（8施設9名+7名） 12月17日 17名（9施設9名+8名） 1月21日 22名（7施設9名+13名） 2月18日 18名（6施設8名+10名） 3月18日 18名（7施設8名+10名）
がんゲノム医療 体制整備・実施	新規	1 2 3 4 5 6 ⑦⑧ 9	院内乳腺外科患者対象、順次拡大予定 院内対象22名実施：乳腺外科7名、消化器疾患6名、婦人科4名、呼吸器内科2名、泌尿器科1名
取組の成果、感想など	新型コロナウイルス感染症の影響		
次シートに記載			

各団体取組シート

団体名:さいたま赤十字病院		令和 2 年度分
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及
地域がん診療連携拠点病院	がんゲノム医療連携病院	2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上
①地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院としての役割を遂行し、がん診療の質向上に寄与する。 ②がん診療における基盤の強化を図るため、緩和ケア研修会への医師受講率90%以上を維持し、がん患者および家族への支援を行う。 ③がん患者が治療を受けながら働ける環境を整えるため、治療と仕事の両立を支援する。		4 がん検診の質の向上
		5 在宅医療の推進
		6 緩和ケアの充実
		7 相談支援体制の活用
		8 情報提供の充実
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の対象者	がん患者・家族、一般市民、来院者、職員	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体	前橋赤十字病院、足利赤十字病院、NPO法人がんと暮らしを考える会、アデランス	
取組の成果、感想など	新型コロナウイルス感染症の影響	
緩和ケア研修会の医師受講率は、2017年度 91.8%、2018年度 87.4%、2019年度 94.8%、2020年度 92.3%であった。今後も未受講の医師へ働きかけ受講率90%以上を維持し、コメディカルの受講者も増やしていき、がん診療の質の維持・向上を目指す。患者より、緩和ケアのバッジをつけている医師を見ると安心するという声も聞かれている。地域ケア意見交換会は、集合開催を見合わせていたが、ZOOMにて再開した。Covid-19における各施設の現状や対応、困りごと等について情報交換を行った。感染対策やクラスターが発生した場合の対応（他訪問看護ステーションへの依頼）、患者・家族はいつも以上に不安やストレスを抱えている状況にあること等、共有した。また事例検討も行い、患者家族の理解や医療者の対応等、様々な視点の考え方を学ぶ機会ともなった。がん相談においても、面会制限に伴い、患者家族から不安や不満の声が多くあり対応している。また病院や施設では面会制限があることから、在宅療養を考える方もおられた。専門家による就労支援では、主に年金受給、障害年金、保険の見直し、住宅ローン等の相談がある。来院が困難な方や感染対策として電話相談の対応も実施している。相談をされた方は、専門家の方と話をすることで安心感が得られている。がん相談員も同席し、治療に伴う副作用への対応や治療と仕事の両立の仕方、制度の補足説明等に応じている。コロナ禍により、仕事の減少に伴う収入の減少もあり、家計の見直し（支出）や利用できる制度の情報を提供し課題解決に取り組んだ。現在、専門家による相談会は院内のがん患者・家族を対象としているが、がん拠点病院として、院外への対応は検討課題である。アピアランスケア（外見のケア）は集合では実施していないが、個別の相談（主に抗がん剤治療に伴う副作用：脱毛や爪のケア）に対応している。外見の不安だけではなく、社会との繋がりへの不安も抱いているため、精神的なサポートも同時に行っている。がんゲノム医療では、体制を整え、院内のがん患者を対象に開始し、軌道に乗り始めている。次年度は院外の方へも対応していく予定であり、現在準備を進めている。今後も院内外の多職種と連携を図りながら、患者・家族が安心して治療を受け、生活が送れるよう支援し、当院の役割を遂行していく。	がん診療連携セミナーは予定していた年2回の開催を中止。がんサロンの開催中止。緩和ケア研修会は院内外の医療従事者を対象としていたが、院内の職員限定で開催した。地域ケア意見交換会は一時開催を見合わせていたが、ZOOMにて再開している。	

# 各団体取組シート

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター		令和 2 年度分	
事業名		分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
・職員の健康管理、がんに関する知識普及	2 受動喫煙の防止と禁煙		
事業の目標	3 がん検診の受診率の向上		
・職員の健康管理、がんに関する知識普及に努める		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者			
全職員、私学共済被扶養者			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
一般社団法人大宮医師会、埼玉県立がんセンター、日本私立学校振興・共済事業団			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
一般定期健康診断	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	全職員を対象に労働安全衛生法に基づく健康診断を実施（年2回の機会を提供）
特定業務従事者に対する健康診断	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	特定業務従事者を対象に労働安全衛生法に基づく健康診断を実施（配置換えの際及び6ヶ月以内ごとに1回定期に実施）
特殊健康診断	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	該当職員を対象に法令に基づく特殊健康診断を実施（配置換えの際及び6ヶ月以内ごとに1回定期に実施）
人間ドックの利用費用補助	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 ⑨	35歳以上の私学共済加入者及び被扶養者に対し、人間ドック利用料の助成
郵送検診の実施	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 ⑨	30歳以上の私学共済加入者及び被扶養者に対し、大腸がん、肺がん、胃がん、前立腺がんの郵送検診を実施
緩和ケア研修会の開催	継続	① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	医療従事者を対象に厚生労働省指針に基づく緩和ケア研修会を年1回開催
化学療法研修会の開催	継続	① 2 3 4 5 6 7 ⑧ ⑨	医療従事者を対象に化学療法に関する最新の知見を提供
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断（受診率100%）や人間ドック、郵送検診、敷地内全面禁煙、禁煙外来などの取り組みを通じてがん罹患するリスクの軽減に努めた。</li> <li>・認定看護師の育成などの取り組みを通じて医療者の知識、技術の習得に努めた。</li> <li>・がんと仕事の両立を目指すために、就労相談会などがん相談支援センターの活動を行った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケア研修会や化学療法研修会などの開催が中止となった。</li> <li>・がんサロンや就労相談会、市民公開講座の開催が延期や中止となった。</li> </ul>	

## 各団体取組シート

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター		令和 2 年度分	
<b>事業名</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受動喫煙防止、禁煙推進</li> <li>・最新知識、技術の習得支援</li> </ul>	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
<b>事業の目標</b>		2 受動喫煙の防止と禁煙	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙によるがん罹患の防止に努める</li> <li>・最新知識、技術の習得支援に努める</li> </ul>		3 がん検診の受診率の向上	
<b>事業の対象者</b>		4 がん検診の質の向上	
全職員、私学共済被扶養者、看護師		5 在宅医療の推進	
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>		6 緩和ケアの充実	
日本私立学校振興・共済事業団、自治医科大学大学院医学研究科、自治医科大学看護師特定行為研修センター		7 相談支援体制の活用	
<b>取組の内容</b>	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
私学事業団健康相談ダイヤル	継続	① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	私学共済加入者に健康医療等電話相談サービスを実施（健康相談、医療相談、介護相談など）
職場巡視における喫煙状況調査の実施	継続	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	全職員を対象に定期的に喫煙の状況について調査を実施。
敷地内全面禁煙	継続	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	受動喫煙防止の観点から敷地内全面禁煙を実施
禁煙外来の開設	継続	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	健康保険を利用した禁煙外来を開始し、喫煙者率の減少に努めている。
がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成	継続	① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	希望職員に対し、資格取得にかかる費用の助成
臨床腫瘍学講義の実施	継続	① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	自治医科大学大学院医学研究科（栃木県下野市）で開講している臨床腫瘍学の講義を当センターでも受講可能にしている
看護師特定行為研修の実施	継続	① 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 ⑧ ⑨	手順書により一定の診療の補助を行うことのできる看護師の養成
<b>取組の成果、感想など</b>		<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断（受診率100%）や人間ドック、郵送検診、敷地内全面禁煙、禁煙外来などの取り組みを通じてがん罹患するリスクの軽減に努めた。</li> <li>・認定看護師の育成などの取り組みを通じて医療者の知識、技術の習得に努めた。</li> <li>・がんと仕事の両立を目指すために、就労相談会などがん相談支援センターの活動を行った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケア研修会や化学療法研修会などの開催が中止となった。</li> <li>・がんサロンや就労相談会、市民公開講座の開催が延期や中止となった。</li> </ul>	

# 各団体取組シート

<b>団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター</b>		<b>令和 2 年度分</b>	
<b>事業名</b>	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
・患者・市民向け知識普及		2 受動喫煙の防止と禁煙	
<b>事業の目標</b>		3 がん検診の受診率の向上	
・患者及び市民に対し、がんに関する正しい知識の普及に努める		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
<b>事業の対象者</b>			
外来患者、入院患者、患者家族、地域の医療従事者、一般市民			
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>			
さいたま市4医師会、埼玉新聞社、ハローワーク大宮			
<b>取組の内容</b>	新規 継続	<b>分野別施策</b> (該当する数字に○)	<b>対象者、実施日時、参加人数など</b>
公開講座の開催	継続	① 2 ③ 4 5 6 ⑦ ⑧ ⑨	市民向けに公開講座を開催し、がんに関する正しい知識の普及に努めている。年1回開催。
がんサロンの開催	継続	① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	がん患者や家族が療養体験や気持ちを分かち合い、勉強会などを行うがんサロンを年6回開催（事前申込制）
おしごと継続・就労相談会の開催	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ ⑨	ハローワーク大宮と連携し、就労相談会を院内で開催。毎月1回開催（第3金曜日、事前予約制）
緩和ケア研修会の開催（再掲）	継続	① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	医療従事者を対象に厚生労働省指針に基づく緩和ケア研修会を年1回開催（地域の医療従事者も参加可能）
院内がん登録の公表	継続	1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	がん診療連携拠点病院における院内がん登録標準登録様式に基づき、1腫瘍1登録とし、入外を問わず登録し、ホームページ上で公表。
がん相談支援センターの開設	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	患者・家族等の医療・療養・生活上の不安や悩みなどに相談対応。
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
<b>取組の成果、感想など</b>		<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断（受診率100%）や人間ドック、郵送検診、敷地内全面禁煙、禁煙外来などの取り組みを通じてがん罹患するリスクの軽減に努めた。</li> <li>・認定看護師の育成などの取り組みを通じて医療者の知識、技術の習得に努めた。</li> <li>・がんと仕事の両立を目指すために、就労相談会などがん相談支援センターの活動を行った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケア研修会や化学療法研修会などの開催が中止となった。</li> <li>・がんサロンや就労相談会、市民公開講座の開催が延期や中止となった。</li> </ul>	

## 各団体取組シート

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター		令和 2 年度分	
<b>事業名</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者・市民向け知識普及</li> <li>・緩和ケア実践</li> </ul>	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
<b>事業の目標</b>		2 受動喫煙の防止と禁煙	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者及び市民に対し、がんに関する正しい知識の普及に努める</li> <li>・適切なタイミングでの緩和ケア実践に努める</li> </ul>		3 がん検診の受診率の向上	
<b>事業の対象者</b>		4 がん検診の質の向上	
外来患者、入院患者、患者家族、一般市民		5 在宅医療の推進	
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
セカンドオピニオン外来の開設	継続	① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	自由診療にて専門の医師がセカンドオピニオンに対応
緩和ケアチームを組織	継続	① 2 3 4 5 ⑥ ⑦ ⑧ 9	医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなどによる緩和ケアチームを組織し、適切なタイミングで緩和ケアを提供できる体制を整備
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断（受診率100%）や人間ドック、郵送検診、敷地内全面禁煙、禁煙外来などの取り組みを通じてがん罹患するリスクの軽減に努めた。</li> <li>・認定看護師の育成などの取り組みを通じて医療者の知識、技術の習得に努めた。</li> <li>・がんと仕事の両立を目指すために、就労相談会などがん相談支援センターの活動を行った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・緩和ケア研修会や化学療法研修会などの開催が中止となった。</li> <li>・がんサロンや就労相談会、市民公開講座の開催が延期や中止となった。</li> </ul>	

## 各団体取組シート

<b>団体名:さいたま市立病院</b>		<b>令和 2 年度分</b>	
<b>事業名</b>	分野別 施策 ( 参考)		
がん患者・家族の支援			
<b>事業の目標</b>			
がん患者と家族が抱える、がんに伴う様々な苦痛の緩和・家族への支援を行う。			
<b>事業の対象者</b>	がん患者及びその家族		
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>	さいたま市保健福祉局保健部健康増進課、ハローワーク大宮、社会保険労務士		
<b>取組の内容</b>	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
がん患者サロン、はなみずき会 (ミニレクチャー、座談会)	継続	①2 3 4 5 6 ⑦8 9	がん患者及びその家族(受診の有無は問わない。)毎月第4水曜日13:00~15:00
告知後の患者支援	継続	①2 3 4 5 ⑥7 8 9	市立病院でがん告知を受けた患者・家族
緩和ケアチーム活動	継続	①2 3 4 5 ⑥7 8 9	市立病院の入院中のがん患者・家族 1回/Wの回診、カンファレンス
がん相談支援センターの活用	継続	①2 3 4 5 6 ⑦8 9	がん患者及びその家族(受診の有無は問わない。)平日の8:30~17:00 面談又は電話相談
就労支援	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦⑧⑨	市立病院かかりつけのがん患者 月1回 社会保険労務士、ハローワーク職員による相談会実施
退院調整看護師の活用	継続	1 2 3 4 ⑤6 7 8 9	がん患者・家族を対象に在宅への調整、退院後、自宅への訪問を行っている。
さいたま浦和地区緩和医療研究会を介しての地域連携	継続	1 2 3 4 ⑤6 7 8 ⑨	さいたま浦和地区の医療従事者を対象に年に2回、講演や連携のためのディスカッションを行い、情報交換と顔の見える関係づくりをしている。
<b>取組の成果、感想など</b>	<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>		
告知後の患者支援では緩和ケア担当看護師が同席LICを行い、医師からの説明が終了してから不安・疑問への対応を行っている。がん相談支援センターでは今年度は相談件数が増加している。特に遠方にお住いの患者さんの家族から治療や療養場所の選択について相談を受けることが多かった。就労支援は若い患者さんを中心に利用してもらった。今年度は新型コロナウイルスの影響で	がん患者サロンは新型コロナウイルス感染拡大予防のため、今年度は休止している。当院の緩和ケア病棟が閉鎖となっているため、緩和ケアを希望する患者の受け入れが困難となっている。また密を避けるために例年行っていた地域との研究会の実施ができなかった。緩和ケア研修会は規模を縮小したため院外の医師の受け入れができなかった。		

各団体取組シート

団体名:さいたま市立病院		令和 2 年度分	
事業名	がん患者・家族の支援	分野別施策(参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
事業の目標			2 受動喫煙の防止と禁煙
がん患者と家族が抱える、がんに伴う様々な苦痛の緩和・家族への支援を行う。			3 がん検診の受診率の向上
			4 がん検診の質の向上
事業の対象者	5 在宅医療の推進	6 緩和ケアの充実	
がん患者及びその家族	7 相談支援体制の活用	8 情報提供の充実	9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体	さいたま市保健福祉局保健部健康増進課、ハローワーク大宮、社会保険労務士		
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる	継続	①2 3 4 5 ⑥7 8 9	がん診療に携わる院内外の医師を対象に行っている緩和ケア研修会でがんサバイバーの方からの講演を新規で取り入れる
がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導	継続	①2 3 4 5 ⑥7 8 9	入院のがん患者にスクリーニングを実施し、3以上の患者に対し作成したパンフレットを使用し、セルフケアを指導する
経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導	継続	①2 3 4 5 ⑥7 8 9	経口抗がん剤を使用する患者の皮膚障害を予防するために外来からセルフケア指導、評価を行う
がん治療時の医科歯科連携を行い、治療に伴う口腔内合併症を予防する	継続	①2 3 4 5 6 7 8 9	がん治療(手術、化学療法、放射線療法)前の患者に対し、歯科と連携し口腔内の環境を整える
がん患者のアピアランスケア支援	新規	① 2 3 4 5 ⑥ 7 ⑧ 9	がん患者に対し外見ケア支援として情報提供やケア方法の検討・アドバイスを行う。
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響	
入院や転院が難しく外来で退院支援を行う機会が増えた。退院調整看護師と連携し対応している。緩和ケア研修会は今年度は規模を縮小して2月に実施した。緩和ケアチームに歯科医師、歯科衛生士も参加となり口腔環境を整えて治療に臨めるように活動している。アピアランスケアに関しては個別対応を行うとともにウィックが試着できるような環境を整えた。			

## 各団体取組シート

団体名：さいたま市4医師会連絡協議会		令和 2 年度分	
<b>事業名</b> ①がん検診の受診勧奨や啓発 ②在宅医療・緩和ケアの推進		分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
<b>事業の目標</b> ①がん検診受診率の向上 ②研修会の開催や参加等により、在宅医療・緩和ケアの理解を深める。			
<b>事業の対象者</b> 市民、医師会会員、検診実施医療機関、訪問看護ステーション、介護支援事業所、地域包括支援センター			
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b> 訪問看護ステーション、介護支援事業所、地域包括支援センター、さいたま市			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
がん検診の実施及び受診勧奨	継続	1 2 ③ ④ 5 6 7 8 9	R2.5.26~R3.3.13実施 胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん(触診)、乳がん(X線)、子宮がん(頸)、子宮がん(体)
浦和在宅医療支援相談センターを通じたがん患者への在宅医療	継続	1 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ 8 9	・ACP普及活動を1回実施：参加者30名 ・在宅医療・介護連携に関する相談件数：204件
在宅医療・緩和ケアに関する研修会の開催	継続	1 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 8 9	
令和2年度埼玉県立がんセンター緩和ケア研修会の受講推進	継続	1 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 8 9	
<b>取組の成果、感想など</b>		<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>	
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により「受診控え」が懸念される中で、本来のがん早期発見の重要性を唱え、改めて検診等の受診勧奨や啓発に取り組む必要がある。また、各種研修会や講演会もオンラインを活用するなど、コロナ禍においても在宅医療と緩和ケアの更なる充実に努めていきたい。		令和2年4月から5月にかけての緊急事態宣言発令に伴う埼玉県緊急事態措置により、がん検診の開始時期は当初の予定より1か月遅れのスタートとなった。また、感染拡大防止の為、多くの講演会や研修会が中止となった。	

## 各団体取組シート

団体名:さいたま市歯科医師会(浦和歯科医師会)		<b>令和 2 年度分</b>	
<b>事業名</b>		1 がんに関する正しい知識の普及	
①会員向け口腔がん対策講習会	分野別 施策 (参考)	2 受動喫煙の防止と禁煙	
<b>事業の目標</b>		3 がん検診の受診率の向上	
①昨今は、行政が主体となり市民対象のがん検診に口腔がん検診を導入している事例も多くみられる。将来的に当会としても、市民のお口の健康を守り、口腔保健についての意識を高めること・全会員が同等の知識と技量を習得しておくことを目的とする。		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
<b>事業の対象者</b>			
浦和歯科医師会会員			
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
口腔がんに関する研修	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	浦和歯科医師会会員、令和3年3月16日(火) からWEB配信
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
<b>取組の成果、感想など</b>		<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>	
継続的な口腔がんの研修を通じて、口腔がんを診る目を養う必要がある。		新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としてWEB講演会とした。	

## 各団体取組シート

団体名:さいたま市歯科医師会(大宮歯科医師会)		令和 2 年度分	
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
①大宮歯科医師会公開市民講座		2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上	
①講話・健診・歯科相談を通じ地域市民のお口の健康についての意識高揚を図る		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者			
さいたま市在住の40歳以上			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
口腔がんに関する講話・健診・歯科相談	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	中止
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響	
		新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止いたしました。	

各団体取組シート

団体名：(一社)さいたま市薬剤師会		令和 2 年度分	
事業名	①地域連携の推進 ②在宅医療の支援管理体制の整備 ③かかりつけ薬局・薬剤師業務の推進と職能の開発 事業の目標 ①退院時共同指導時の対応含め、患者をサポートするために連携で活用すべき情報に着目し、内容や方法について検討する。 ②在宅支援薬局リストを改訂、現状に即した内容で連携の充実をはかる。 ③健康相談を受け入れるための薬局・薬剤師を整備する。また、薬剤師の職能を「相談」や「健康サポート」の分野で発揮できるよう、他団体での取り組みや他地域での活動に参加し、地域として標準化できるような体制を構築する。	分野別施策(参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
			2 受動喫煙の防止と禁煙
			3 がん検診の受診率の向上
	4 がん検診の質の向上		
	5 在宅医療の推進		
	6 緩和ケアの充実		
	7 相談支援体制の活用		
	8 情報提供の充実		
	9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の対象者			
地域の保険薬局・薬剤師・医療機関・地域住民			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
医師会、歯科医師会、病院、診療所、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、他薬剤師会			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
癌治療における薬薬連携体制の構築	継続	① 2 3 4 ⑤ 6 7 8 ⑨	各基幹病院、さいたま市薬剤師会会員薬局
在宅医療支援薬局リストの改訂	新規	1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	医師会、医療機関、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、行政窓口
癌治療に関する薬剤師の研修会	継続	1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	さいたま市薬剤師会会員・医師・メーカー等共催での研修
かかりつけ薬局・健康サポート薬局の育成	継続	1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	日本薬剤師会、埼玉県薬剤師会との共同による育成研修
他団体や地域におけるイベント等に参加。教育者としての人材育成を行う	新規	① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	さいたま市薬剤師会会員、各基幹病院
各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施(薬物乱用防止、健康フェア)	継続	① 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	さいたま市薬剤師会会員、市民
地域寄り添うためのコミュニケーションに特化した研修会の開催	新規	1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	さいたま市薬剤師会会員
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響	
癌に罹患している患者に対する連携を充実させるため、当薬剤師会、病院薬剤師、医師、大学、医薬品メーカー、医薬品卸等の様々な職種の方に関わっていただいている「さいたま地域連携Network」という組織を設立し、非常に強固な連携体制を構築できたことは、今後の連携推進に向けて非常に良い取り組みであったと感じている。一方で、地域でのイベント等が相次いで中止したこともあり、かかりつけ薬剤師としての職能を發揮できる場が少なかった。これについては、方法・運営についても検討すべき課題であると感じている。		薬剤師としての職能を發揮すべき地域貢献のイベントが相次いで中止されてしまったことは、非常に大きな影響を及ぼしてしまった。また、連携という観点で、オンラインが主流になったことにより、悪い意味で費用がかかってしまうケースも多く、加えて、ICTに対する知識不足を背景としたノウハウがないことで、業務を行うためのハードを整えることができたケースが限定的になってしまった。今後もこのような傾向は続くと考えているため、まずはICTに対しても向き合う必要があると考えている。	

## 各団体取組シート

団体名：埼玉県看護協会		令和 2 年度分	
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
看護職に対するがん看護についての集合研修		2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上	
がん看護について看護専門職として必要な看護実践能力向上を養う。		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者			
会員および非会員の看護職			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
特になし			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
がん化学療法看護	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	9/17 (木) 10:00~16:00 44名
がん性疼痛看護	継続	① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	6/18 (木) 予定→中止
がん患者のアピランスケア	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	11/27 (金) 13:00~16:00 23名
がん患者の退院支援と地域連携	継続	① 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	10/20 (火) 10:00~16:00 45名
エンド・オブ・ライフ・ケア	継続	① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	12/11 (金) 10:00~16:00 51名
看とりにおける看護の役割	継続	① 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	11/25 (水) 10:00~16:00 51名
がんサバイバー	新規	① 2 3 4 5 6 7 8 9	12/9 (水) 13:00~16:00 25名
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響	
日本看護協会が定める看護師実践能力（Ⅰ～Ⅴ）の中で「がん看護」はⅢ～Ⅳ（個別的ケア～幅広い視野で予測的判断ができる）レベルに相当。受講者が明確な目的をもって参加し、高い満足度を得た。		緊急事態宣言及び臨床現場の状況に合わせて研修予定を繰り下げ、併せて集合・対面からリモート研修の準備をすすめた。参加人数は例年には及ばなかったが、研修環境の整備（ZOOM等）は促進できた。	

# 各団体取組シート

<b>団体名：埼玉県訪問看護ステーション協会</b>		<b>令和 2 年度分</b>	
<b>事業名</b>		分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
①訪問看護師の確保・育成 ②経営安定化支援 ③医療・介護の連携 ④在宅療養の知識の普及			2 受動喫煙の防止と禁煙
<b>事業の目標</b>			3 がん検診の受診率の向上
①訪問看護師の確保・育成をすることにより、在宅看取りが増やせる体制作りが行えるため、育成が必要である。 ②訪問看護STの経営をサポートし、安定化を図ることにより、在宅医療の推進となる。 ③多職種連携・市民向けの窓口を広げていき、情報提供の充実を図る。 ④教育ステーション地域の促成に合わせた教育・連携を図る			4 がん検診の質の向上
<b>事業の対象者</b>		5 在宅医療の推進	6 緩和ケアの充実
住民、患者、県内外医療従事者、地域包括ケアシステムに関わる職種、県内訪問看護ステーション			
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>		7 相談支援体制の活用	8 情報提供の充実
県行政、医師会、看護協会、三工会、ケアマネ協会、関係医療機関			
<b>取組の内容</b>	<b>新規 継続</b>	<b>分野別施策</b> (該当する数字に○)	<b>対象者、実施日時、参加人数など</b>
訪問看護師育成プログラム普及	継続	① 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	訪問看護師の育成のための研修開催 (前期・後期) 7月から9月 10月から3月
訪問看護ステーション体験実習	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 ⑨	中高校生・潜在看護師・病院看護師等が訪問看護を体験できる実習 年間115人受入
訪問看護ST経営サポート	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	経営に対する相談支援 個別経営相談4件 医療事務研修 さいたま市、川崎市 各30人
コールセンターの設置・運営	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 ⑦ ⑧ 9	訪問看護ステーション職員 一般職員等平 日10° ~16° 対応 362人 看護管理者月水金10° ~16° 対応 696人
教育ステーション事業	継続	① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	訪問看護の知識、技術向上のための研修の実施 多職種との連携拠点 新規事業所の職員の同行訪問による訪問看護体験 県内3ヶ所 研修をZOOMで行った
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
<b>取組の成果、感想など</b>		<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>	
研修について対面で行ったものは、参加人数が少なかったが増員は考えずに、研修を行った。研修内容は、人数は少なかったが好評であった。コールセンター事業は、問い合わせが多く、1000件近くあった。小さい訪問看護ステーションが多く、新規開設のステーションの管理者、事務員の問い合わせが多い。		訪問看護師育成プログラム、訪問看護ステーション体験実習、教育ステーション事業等研修を伴う事業は、一部ZOOMで行えたが、中止にしたものも多い。体験研修は、病院からの看護師が多かったがその申し込みがなくなった	

各団体取組シート

団体名：健康増進課		令和 2 年度分		
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及		
がん対策推進講演会（対象：市民及び医療関係者）		2 受動喫煙の防止と禁煙		
がん患者就労相談		分野別 施策 （ 参考）	3 がん検診の受診率の向上	
がん教育出前講座			4 がん検診の質の向上	
事業の目標			5 在宅医療の推進	
①がんに関する正しい知識の普及			6 緩和ケアの充実	
②がん患者の療養生活の質の向上			7 相談支援体制の活用	
③がん患者等の就労支援の充実			8 情報提供の充実	
④禁煙についての情報発信			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者			市民、医療関係者	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体				
さいたま市4医師会、さいたま市歯科医師会、大宮公共職業安定所、さいたま市立病院、埼玉県社会保険労務士会、浦和社会保険労務士会、市立各学校、（一社）さいたま市薬剤師会、埼玉県立がんセンター、健康教育課				
取組の内容	新規	分野別施策	対象者、実施日時、参加人数など	
	継続	（該当する数字に○）		
がん対策推進講演会	継続	① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	新型コロナウイルスの影響により、対面による開催は中止。市HPに掲載するため、講師の講演動画を撮影。	
がん患者就労相談	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	社会保険労務士やハローワーク大宮職員を相談員とし、月1回さいたま市立病院にて開催。相談件数7件	
がん教育出前講座	新規	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	市立各学校の生徒、保護者、教員を対象に出前講座を実施。 実施回数：2回 【浦和大里小学校】 講師：がん経験者 参加者数：42名（教員、保護者） 【八王子中学校】 講師：看護師 参加者数：296名（生徒）	
禁煙外来リスト配布及び第3版の作成	継続	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	第3版を3万部作成し、令和3年3月に配布。	
医療用ウィッグ・サポート店一覧の掲載	継続	1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	医療用ウィッグの購入や調整ができる美容室の情報をまとめた一覧を作成し、市ホームページに掲載（随時情報を更新）。	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9		
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響		
令和2年度の新規事業として、がん教育出前講座を実施した。生徒、教員、保護者を対象に、がんに関する基本的な情報や、がん予防、検診の大切さについて伝えることができた。令和3年度は、若年の末期がん患者の在宅療養生活に係る経費の一部を交付することにより、患者及びその家族の経済的負担の軽減を図る。		対面による講演会の中止や、就労相談ができない月があったこと等、例年どおりに事業を行えなかった。令和3年度は、新型コロナウイルスの感染状況や社会のニーズも踏まえ、YouTube や Zoom等を活用したオンライン形式による開催等を検討し、事業を実施していきたい。		

## 各団体取組シート

<b>団体名：地域医療課</b>		<b>令和 2 年度分</b>	
<b>事業名</b>	分野別 施策 ( 参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
医療機関情報の発信		2 受動喫煙の防止と禁煙	
<b>事業の目標</b>		3 がん検診の受診率の向上	
医療機関検索サイト「医療なび」の実施		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
<b>事業の対象者</b>			
市民			
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
「医療なび」の周知	継続	1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	市民、通年（365日）
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
<b>取組の成果、感想など</b>		<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>	
「埼玉県医療機能情報提供システム」を運用している埼玉県の動向を注視し、医療情報提供の充実に向けた取組を進めていく必要がある。		マスク着用及び手指消毒の徹底や外出自粛等の新型コロナウイルス感染症対策を市民が広く実施した結果、インフルエンザや風邪に罹患したり、運動中に負傷する人数が例年より大幅に減少し、また、発熱症状が出た際は埼玉県受診・相談センターへ案内しているため、さいたま市医療なびの検索数が減少した。	

各団体取組シート

団体名：地域保健支援課		令和 2 年度分		
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及		
①がん検診の受診向上対策の推進 ②がん検診精密検査対象者への受診勧奨		2 受動喫煙の防止と禁煙		
事業の目標	①市民のがん検診受診を促し、受診率を向上させる。 ②がん検診及び精密検査の必要性の正しい知識の啓発と受診促進を行うことで質の高い検診を目指す。	分野別 施策 ( 参考)	3 がん検診の受診率の向上	
			4 がん検診の質の向上	
5 在宅医療の推進				
6 緩和ケアの充実				
7 相談支援体制の活用				
8 情報提供の充実				
9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実				
事業の対象者	市民			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体	各区保健センター、医師会			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など	
がん検診対象初年度無料事業制度の実施	継続	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	今年度初めて市のがん検診の対象になった市民、令和2年度の検診実施期間中	
がん検診の個別勧奨はがきの送付	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	市のがん検診の対象の市民、個別勧奨はがき：令和2年5月上旬発送	
精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨	継続	① 2 ③ ④ 5 6 7 8 9	がん検診で精密検査が必要だと判断された市民のうち未受診者、1次検診受診報告日より4か月後	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9		
		1 2 3 4 5 6 7 8 9		
取組の成果、感想など	新型コロナウイルス感染症の影響			
<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度も、がん検診の対象者に対して5月上旬に個別の勧奨はがきを送付したほか、精密検査が必要とされた方に対して個別の受診勧奨を行いました。</li> <li>新型コロナウイルス感染症等の影響もあり、受診者数が減少する見込みのため、引き続き、効果的な受診勧奨の取組が求められます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1回目の緊急事態宣言に伴い、4月27日～5月25日にかけて検診の実施を見合わせました。</li> <li>感染拡大防止の観点から、例年行っている再勧奨はがきの送付や、施設・イベント等での啓発活動の実施を見合わせました。</li> </ul>			

各団体取組シート

団体名:いきいき長寿推進課		令和 2 年度分	
事業名	在宅医療・介護連携推進事業の実施	分野別施策(参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
事業の目標			2 受動喫煙の防止と禁煙
地域の医療・介護関係者による会議の開催、在宅医療・介護関係者の研修等を行い、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を推進する。			3 がん検診の受診率の向上
			4 がん検診の質の向上
事業の対象者	5 在宅医療の推進	6 緩和ケアの充実	
医療関係者、介護関係者、行政		7 相談支援体制の活用	8 情報提供の充実
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護事業所、療法士会、栄養士会、介護支援専門員協会、社会福祉協議会、地域包括支援センター、各区役所高齢介護課、介護保険課、地域医療課			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	在宅医療・介護連携推進会議において、現状や課題について情報共有、対応策の検討などを行いました。
医療・介護関係者の研修	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	医療・介護等の多職種を対象として、医療や介護に関する研修会を開催予定でしたが、コロナ禍により中止しました。
地域住民への普及啓発	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	地域住民を対象とした講演会を開催します。また、在宅医療連携拠点の普及啓発に取り組む予定でしたが、コロナ禍により中止しました。
医療・介護関係者の情報共有の支援	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	市全域での入退院支援ルール of 作成に取り組み、情報共有様式等の検討を行いました。
切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制の構築を検討し、市全域での入退院支援ルール of 作成に取り組みました。
在宅医療・介護連携に関する相談支援	新規	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	ケアマネージャーの資格を有する看護師などがコーディネーターとして、市民や関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談に対応しました。
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響	
在宅医療・介護連携推進事業は、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていくことができるよう、医療・介護・福祉分野の関係者間のより一層の「顔の見える関係」の構築が必要と考えます。		研修会や講演会の開催に関し、医療と介護の関係者が新型コロナウイルス感染症に対応するために業務多忙となったことや、参加者及び従事者における感染拡大防止の観点から、集合形式での開催を一定期間見送らざるを得なくなったことから、オンラインの活用や書面開催等を検討していく。	

## 各団体取組シート

<b>団体名:教育委員会学校教育部指導1課</b>		<b>令和 2 年度分</b>	
<b>事業名</b>	<b>分野別 施策 ( 参考)</b>	1 がんに関する正しい知識の普及	
学習指導要領に基づく保健学習指導		2 受動喫煙の防止と禁煙	
<b>事業の目標</b>		3 がん検診の受診率の向上	
①がんに関する正しい知識を習得させる。 ②喫煙に関する正しい知識を習得させる。		4 がん検診の質の向上	
	5 在宅医療の推進		
	6 緩和ケアの充実		
	7 相談支援体制の活用		
	8 情報提供の充実		
<b>事業の対象者</b>		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
市立全小・中学校の児童生徒			
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>			
教育委員会学校教育部健康教育課			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
保健学習の実施	継続	① ② 3 4 5 6 7 8 9	市立全小・中学校の児童生徒に対して確実に保健学習を行う。
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
<b>取組の成果、感想など</b>		<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>	
小学校保健の学習では、病気の予防の単元の中で、生活習慣病や喫煙などによりがんのリスクについて指導することができた。中学校の保健体育の学習では、健康な生活と病気の予防の単元の中で、生活習慣病や喫煙などによりがんのリスクについて指導することができた。			

各団体取組シート

団体名:教育委員会健康教育課		令和 2 年度分	
事業名	①健康教育（がん教育等）研究委嘱	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
事業の目標			2 受動喫煙の防止と禁煙
学校におけるがん教育の推進	3 がん検診の受診率の向上		
	4 がん検診の質の向上		
	5 在宅医療の推進		
	6 緩和ケアの充実		
	7 相談支援体制の活用		
	8 情報提供の充実		
	9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の対象者			
市立学校児童生徒・教職員			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
教育委員会指導1課、健康増進課			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
健康教育（がん教育等）研究委嘱	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	令和元年～令和3年 八王子中学校
各学校でのがん教育の取組の支援	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	市立各学校
文部科学省主催研修会 参加	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	健康教育課・市内教職員 1/27オンラインにて実施
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響	
<p>教職員向け研修会として、保健主事や養護教諭の研修の際に、がん教育出前講座について周知した。各学校では、教職員や保護者向けの研修や、児童生徒向け講座の実施等、実態に応じてがん教育に取り組む学校が見られた。令和元年度から取り組む八王子中では、計画を変更しつつも研究を進めているところである。</p>		<p>健康増進課のがん教育出前講座については、各学校の取組として令和2年度から開始できる状態だったが、感染症拡大防止のため申込みを控える学校が多くなったと思われる。3年間の研究に取り組む八王子中では、教職員研修や生徒への指導を工夫して実施していたが、当初の計画は変更せざるを得ず、内容の削減となった。</p>	

各団体取組シート

団体名：西区役所保健センター		令和 2 年度分	
事業名	分野別施策（参考）	1 がんに関する正しい知識の普及	
がん検診受診勧奨 がんについての啓発		2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上	
①がん検診を受診し、早期発見・治療につながる		4 がん検診の質の向上	
②がんについての知識を持ち、予防やセルフチェックなど自身でケアすることができる	5 在宅医療の推進		
③自身の健康について関心を持ち、相談・受診などの行動をとれる	6 緩和ケアの充実		
事業の対象者	7 相談支援体制の活用		
市民全般、市内在住のがん検診受診対象者およびその家族		8 情報提供の充実	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
JR東日本（指扇駅）			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
がん検診受診勧奨	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	区役所内2か所にてがん検診受診勧奨について掲示、各教室にて随時受診勧奨、区報掲載
駅前での啓発活動	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	11月24日、指扇駅にて検診受診勧奨等について啓発グッズを配布予定
がん精密健診未受診フォロー（女性のがん）	継続	① 2 ③ 4 5 6 ⑦ 8 9	精密健診未受診の方に受診状況の確認、および受診勧奨の連絡
健康相談（随時）	継続	① 2 ③ 4 5 6 ⑦ 8 9	来所・電話などがんについての相談を随時行う
乳がんについての講話（依頼教育）	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	乳幼児を持つ保護者を対象に10月に実施
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響	
がん検診受診勧奨については、10月に乳がん月間と合わせて、がん全般の知識の啓発および健診受診勧奨を保健センターの掲示スペースで行った。 がん精密健診未受診フォローについても、対象者への受診勧奨を行った。健康相談は随時対応している。		人との接触を極力避けるために、不特定多数の方への啓発活動（指扇駅での啓発グッズ配布）は断念。依頼教育での啓発については、依頼元が集いの中止を決定したため、実施できなかった。教室も開催を見合わせたり、時間短縮をしたため、がんについての啓発は最小限となってしまった。	

各団体取組シート

団体名：北区役所保健センター		令和 2 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及	
①がんに関する知識の普及 ②がん検診の重要性について啓発 ③受動喫煙についての啓発および禁煙方法の周知		2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標	分野別施策（参考）	3 がん検診の受診率の向上	
		4 がん検診の質の向上	
①がんやがん検診について知り、健(検)診の重要性を理解する。 ②たばこの害や受動喫煙について理解し、禁煙の方法を知る。		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
事業の対象者		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
北区民		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
ステラタウン、児童センター、子育て支援センター等			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
健康クイズラリーにおいてがん検診の啓発、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 ⑨	新型コロナウイルスの感染拡大のため、今年度は実施せず。
育児学級・離乳食教室でがん検診受診勧奨のポケットティッシュ配布	継続	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	離乳食教室・育児学級の対象者の親を対象に、12回実施 計310人参加
エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示・チラシの配布	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	保健センター来所者へポスターなど掲示。
健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	新型コロナウイルスの感染拡大のため、今年度は実施せず。
子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	今年度は実施せず。
けんこうギャラリーにおいてがん検診の普及啓発	新規	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	北区役所来所の市民を対象に、9月1～4日の4日間開催し、計112名参加。
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響	
<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度新型コロナウイルスの感染症のため、商業施設でのイベントは実施ができず、そのかわりに、区役所来所の市民を対象に、健康に関する展示会を開催し、がん検診等の重要性を普及啓発することができた。配布資料にがん検診のパンフレットを封入して、がん検診の必要性の普及啓発ができた。</li> <li>小学生の親子を対象とした運動教室に参加した市民に対し、がん検診に関する資料を配布して、子育て世代へがん検診受診の意識を高めることができた。</li> <li>通年でがんに関する啓発コーナーを設置し、がん検診の受診勧奨を行った。今年度は保健センター前に掲示しているがんに関するパネルを、新しい統計の入ったものに変更して来所した市民に対し、啓発をできた。</li> </ul>		<p>今年度は新型コロナウイルスの感染症のため、商業施設でのイベントは実施ができなかった。そのかわりに、区役所来所の市民を対象に、健康に関する展示会を開催した。</p> <p>乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定についても感染予防の観点から、実施できなかった。来年度はがんに関する資料の充実や、掲示の工夫を図るなどの市民の目を引く方法で普及啓発に取り組んでいきたい。</p>	

各団体取組シート

団体名:大宮区役所保健センター		令和 2 年度分	
事業名	がんの予防と早期発見の推進	分野別施策(参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
事業の目標			2 受動喫煙の防止と禁煙
<ul style="list-style-type: none"> <li>がん予防の推進</li> <li>がんの早期発見・早期治療の推進</li> </ul>			3 がん検診の受診率の向上
			4 がん検診の質の向上
事業の対象者	5 在宅医療の推進	6 緩和ケアの充実	
市民(大宮区民)	7 相談支援体制の活用	8 情報提供の充実	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体	9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
大宮区役所総務課、コミュニティ課、北部市税事務所、子育て支援センターおおみや、さいたま市食品衛生協会、大宮高島屋、大宮アルディージャ			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
がん検診精密検査未受診フォロー(乳がん・子宮がん精密検査未受診者)	継続	① 2 ③ ④ 5 6 7 8 9	女性のがん検診にて、要精密検査者へ随時実施
区報によるがん検診受診勧奨・正しい知識の啓発	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	市報さいたま大宮区版8月号、1月号に記事を掲載
がん検診ポスターや横断幕の設置	継続	① 2 ③ 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	市民、通年および受診勧奨月間で設置
大宮高島屋館内放送でのがん検診受診勧奨	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 ⑧ ⑨	商業施設利用者、令和2年5月～令和3年3月(新型コロナウイルス感染症の影響で実施見合わせ)
健康教室での教育・啓発活動	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 ⑧ 9	ボディメイク0038、体組成測定会、食育スタンプラリー参加者 合わせて約120名
大宮区主催のイベントでの啓発活動	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 ⑧ ⑨	新型コロナウイルス感染症の影響で、各種イベントが中止(少年少女サッカー教室・区民まつり等)
大宮区役所内でのチラシ配布・パネル設置などの普及啓発	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 ⑧ 9	食品衛生協会の検便検査配布時(8月、1月)にがん検診受診勧奨チラシ等を300名配布。確定申告会場(2月～3月)に啓発ポスターを設置。
大宮区役所館内放送でのがん検診受診勧奨	新規	① 2 ③ 4 5 6 7 ⑧ 9	大宮区役所・大宮図書館等の利用者、令和2年5月～令和3年3月(新型コロナウイルス感染症の影響で実施見合わせ)
取組の成果、感想など	新型コロナウイルス感染症の影響		
<ul style="list-style-type: none"> <li>他団体、他課と協力して行う普及啓発は、様々な人に対して、効率よく周知することができた。</li> <li>商業施設や公共施設でのがん検診受診勧奨の定時放送は、広く周知ができる方法と思われるため新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら今後の実施にむけて準備していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種教室、イベント等は中止となった。</li> <li>商業施設や公共施設での館内放送は、実施を見合わせた。</li> </ul>		

各団体取組シート

団体名：見沼区役所保健センター		令和 2 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及	
①がん検診の受診勧奨 ②喫煙や受動喫煙に対する正しい知識の普及、禁煙支援		分野別施策（参考）	2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標			3 がん検診の受診率の向上
①がん検診の重要性と正しい知識の普及および啓発を行うことで、検診の受診率向上を図る。 ②測定（可視化）により禁煙意識を高め、禁煙行動のきっかけとなる。受動喫煙について考えるきっかけとなる。			4 がん検診の質の向上
事業の対象者		5 在宅医療の推進	6 緩和ケアの充実
見沼区民		7 相談支援体制の活用	8 情報提供の充実
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
総務課			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
教室の中でのがん検診受診勧奨	継続	①2 ③4 5 6 7 8 9	教室参加者、約300名に勧奨
ポケットティッシュの配布	継続	1 2 ③4 5 6 7 8 9	教室参加者、見沼区ふれあいフェア来場者等約1,000個
展示コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置	継続	①2 ③4 5 6 7 8 9	区役所来庁者、保健センター来所者、常時
がん検診の啓発品（ボールペン・ハンカチ等）の作成・配布	継続	1 2 ③4 5 6 7 8 9	教室参加者、保健センター来所者等約300個
公用自転車に受動喫煙のポスターを張り付け普及啓発を実施	新規	1 ②3 4 5 6 7 8 9	通年
禁煙週間の取り組み（特設コーナーの設置、広報誌等による普及啓発、受動喫煙防止の普及啓発活動）	継続	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	区役所来庁者、保健センター来所者 平成30年5月31日～6月6日
呼気一酸化炭素濃度測定・禁煙相談	継続	1 ②3 4 5 6 7 8 9	希望者（随時受付）
見沼区ふれあいフェアで乳がん自己検診法体験	継続	①2 3 4 5 6 7 8 9	見沼区ふれあいフェア来場者
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響	
<ul style="list-style-type: none"> <li>保健センター事業の各種教室参加者に対し、乳がん自己検診法体験を実施したことで、子育て中の若い世代に対しても、乳がん検診による早期発見の重要性について普及啓発を行うことができた。</li> <li>区役所職員による乳がん啓発名札の着用により、保健センター来所者以外の市民に対しても啓発を行う機会を設けることができた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>感染拡大を受けて、見沼区ふれあいフェアが中止となった。</li> <li>接触・飛沫感染の恐れがあるため、呼気一酸化炭素濃度測定の実施を中止した。</li> <li>乳がん自己検診法体験では、乳がんモデルを介した接触感染防止のため、ディスプレイブルグローブ着用下で実施する等の工夫をした。</li> </ul>	

各団体取組シート

団体名：中央区保健センター		令和 2 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及	
①がん検診受診勧奨 ②がん発症予防		分野別施策（参考）	2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標			3 がん検診の受診率の向上
①がん検診を受け、早期発見を図ることで重症化を予防する。 ②がんを予防する生活習慣を知ること、がん発症のリスクを下げる。			4 がん検診の質の向上
事業の対象者		5 在宅医療の推進	6 緩和ケアの充実
①保健センター事業参加者 ②保健センター来所者 ③区内施設利用者		7 相談支援体制の活用	8 情報提供の充実
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
区役所、区内施設、児童センター			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
「パパとヘルメットランチクッキング」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施	新規	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	新型コロナの影響のため中止
「パパにつくろう！カンタン朝ごはん」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施 ⇒教室名と内容を大幅に変更「食べ物・飲み物不思議発見教室」として実施。	新規	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象：教室参加者 実施日：令和2年8月30日 参加人数：16名
「リラックスヨガ」教室にて、がんについての講話実施	新規	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象：教室参加者 実施日：令和2年10月16日 参加人数：11人
「みんなあつまれ！親子deたいそう」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施	新規	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象：教室参加者 実施日：令和2年11月29日 参加人数：15人
「大人健康倶楽部」教室にて、受動喫煙防止と禁煙・がん検診受診について講話実施	新規	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象：教室参加者 実施日：令和2年12月25日 参加人数：4人
児童センター依頼教育にて、乳がん自己検診法について講話実施	継続	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：母乳授乳期以外の母親 実施日：令和2年9月16日、10月8日、11月5日 参加人数：8人
がん検診受診勧奨用チラシ配布	継続	1 2 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	新型コロナの影響のため中止
区民まつり参加者に対しがん検診受診勧奨啓発品配布	継続	1 2 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	新型コロナの影響のため中止
取組の成果、感想など	新型コロナウイルス感染症の影響		
教室の中で講話を実施することで、がん予防に関心をもってもらうきっかけなり、アンケートでは「がんの話が聞けてよかった」との記載があった。 今年度は教室参加者等の限られた対象者への実施にとどまっているため、より広くの方へ啓発できるよう、来年度の計画に反映させた。	保健センター主催の教室（1回）と11月実施予定であった区民まつりが中止となったこと等で、広く市民に啓発を行う機会が制限された。		

各団体取組シート

団体名：桜区役所保健センター		令和 2 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及	
①がん検診の受診勧奨・がんについての普及啓発 ②禁煙に関する普及啓発		2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標		分野別 施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上
			4 がん検診の質の向上
			5 在宅医療の推進
			6 緩和ケアの充実
			7 相談支援体制の活用
①桜区区民ががん検診を受け、早期発見を図ることで早期治療に結びつける。 ②がんを含む生活習慣病のリスクである喫煙習慣の減少。			8 情報提供の充実
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の対象者	桜区区民		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
①がん検診受診勧奨 (1) 保健センター窓口で、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するパンフレット・啓発品を配布。 (2) 保健センター主催健康教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施。 (3) 市報桜区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載。 (4) 区民ふれあいまつりにて、がんについての健康クイズを実施。 (5) 体組成測定会にがん検診啓発パンフレットを配布。 (6) がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間に区役所・プラザウエストの階段に、がんに関する健康クイズを掲示。	継続	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	(1) 通年 (2) 10月22日(M I A ♪) →中止 (3) 7月・10月→7月中止 (4) 10月17日→中止 (5) 10月8日→中止 (6) 10月1日～10月30日→中止
②禁煙 (1) 禁煙週間に保健センター窓口やプラザウエスト等で、ポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布。区役所内エレベーター・階段で健康クイズを掲示。 (2) 保健センター主催健康教室開催時に、禁煙についてミニ講話を実施。 (3) 市報桜区版に禁煙の効果についての記事を掲載。	継続	1 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	(1) 6月1日～6月30日→規模を縮小して実施 (2) 5月27日(M I A ♪) →中止 (3) 5月
取組の成果、感想など	新型コロナウイルス感染症の影響		
教室等が中止となったため、健康啓発媒体として、健康ニュースを作成し、配布した。規模を縮小し掲示やパンフレットの配布を行ったが、緊急事態宣言の影響で来庁者の数が減少し、十分な普及啓発活動が出来なかった印象がある。来年度は禁煙・受動喫煙・がん検診普及啓発を行っていきたいと考える。	今年度は新型コロナウイルスの影響により区民まつり、各種教室などほとんどの事業が中止となった。また、不特定多数が触れる可能性のある健康クイズの掲示は中止とした。		

各団体取組シート

団体名：浦和区役所保健センター		令和 2 年度分	
事業名	①がん検診の受診勧奨 ②受動喫煙防止の啓発 ③乳がん自己触診の普及啓発	分野別施策（参考）	1 がんに関する正しい知識の普及
事業の目標			2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の対象者	浦和区保健センター及び浦和区役所来庁者 教室参加者 浦和区健康スポット来場者		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体	浦和区役所各課		
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	公民館等育児相談 新型コロナウイルスの影響により中止 両親学級 12回/年
区内幼稚園の保護者向け教育で、乳がん自己触診について普及啓発、がん検診の受診勧奨	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	新型コロナウイルスの影響により中止
区内小中学校の保護者向け教育で、乳がん自己触診について普及啓発、がん検診の受診勧奨	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	新型コロナウイルスの影響により中止
区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発	継続	① ② ③ 4 5 6 7 ⑧ 9	全開庁日
保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発	継続	① ② ③ 4 5 6 7 ⑧ 9	全開庁日
浦和区健康まつりにて、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発	継続	① ② ③ 4 5 6 7 ⑧ 9	健康まつりは新型コロナウイルスの影響により中止 代替事業として10月25日(日)に浦和区役所ロビーにて浦和区健康スポット(健康づくり普及啓発事業)を実施
女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、子宮がん検診の普及啓発	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	年11回
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響	
浦和区健康スポットでは、乳がんモデルの触診体験コーナーを設置し、18名の方に体験していただいた。アンケートでは17名から「乳がんのセルフチェックを実践しようと思った」と回答が得られ(1名は「すでに実践している」と回答)、乳がんのセルフチェックの実践あるいは継続の動機づけを行うことができたと考える。		感染拡大防止のため、当初予定していた事業の多くが中止となり、がんに関する普及啓発の機会を作ることが難しい状況であった。	

各団体取組シート

団体名：南区役所保健センター		令和 2 年度分		
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及		
①がん検診受診に関する啓発		2 受動喫煙の防止と禁煙		
②がん検診受診勧奨に関するコーナーの設置		分野別 施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上	
③禁煙相談事業の実施			4 がん検診の質の向上	
事業の目標			5 在宅医療の推進	
①②がん全般に関する知識や乳がんの自己検診法を学び、検診及び予防の必要性を理解することができる。			6 緩和ケアの充実	
②③喫煙や受動喫煙の害を知り、禁煙の必要性を理解し、禁煙行動への意識を持つことができる。			7 相談支援体制の活用	
			8 情報提供の充実	
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者				
区民を中心とした市民				
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体				
武蔵浦和コミュニティセンター、シニアふれあいセンターサウスピア、南区役所各課				
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など	
保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発	継続	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	【対象者】①30～40歳代の女性 ②1歳児とその父 ③8kg前後の児と30～40歳代の母親 ④小学生とその保護者 ⑤20～50歳代の区民 ⑥小学生とその保護者または夫婦 ⑦20～40歳代の区民 【実施日】①11/13 ②6/20、12/12 ③8/28 ④9/12 ⑤9/18 ⑥9/27 ⑦10/8 【参加人数】74人	
地区依頼教育での乳がん検診（自己検診法を含む）の説明	継続	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	【対象者】対象は区内在住の乳幼児を持つ母 【実施日】11/17 【参加人数】8人	
庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診に関する啓発媒体の展示	継続	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	【対象者】パネル展示・パンフレット等の配布 【実施日】年間を通じて実施。	
サウスピア7階の窓ガラス（武蔵浦和駅側）に、禁煙を促すキャッチコピーを掲示	継続	1 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	【対象者】武蔵浦和駅埼京線利用者等 【実施日】6月2日から6月16日	
禁煙相談の実施	継続	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	【対象者】区内在住の禁煙希望者とその家族 【実施日】保健センター開庁日（予約制）	
区役所各課職員におけるピンクリボンの着用による乳がんの啓発	新規	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	【対象者】南区役所に来所した区民または市民 【実施日】10/1～10/31 【作成数】300個 (区内各課職員に着用を依頼)	
体組成測定会でのがん予防・検診に関するPR	継続	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	【対象者】区民または市民 【実施日】7/31、12/3 【参加人数】105人	
禁煙に関する啓発（母子健康手帳交付時のポケットティッシュ配布・自転車のカゴに禁煙を促す看板を設置する等）	継続	1 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	【対象者】妊娠届出申請者 【実施日】妊娠届出申請時 【配布人数】1,451人（1月末時点）	
取組の成果、感想など	新型コロナウイルス感染症の影響			
<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業等で、がん検診受診に関する啓発を実施しました。</li> <li>令和元年度から、南区役所がある複合公益施設サウスピア7階の窓ガラス（武蔵浦和駅側）を活用した健康づくり事業関連のメッセージ掲示を行っています。令和2年度は禁煙を促すメッセージを掲示しました。</li> <li>新しい生活様式を踏まえ、様々な場面でがん全般に関する知識の普及啓発、禁煙の必要性など情報発信に努めていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予定していた事業の日程変更や中止。</li> <li>事業の参加人数の制限。</li> <li>禁煙相談時に活用していたマイクロCモニターが使用できない。</li> <li>イベント不参加のため、事業参加者以外への周知の機会の減少。</li> <li>乳がんモデル使用時に、使い捨て手袋を着用するなどの感染予防対策を実施する。</li> <li>事業時間短縮のため、両親学級時の禁煙に関するDVD上映の中止。</li> </ul>			

各団体取組シート

団体名：緑区役所保健センター		令和 2 年度分											
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及											
①健康教室等において、がん検診の受診勧奨や乳がん自己検診法等の普及を行う ②庁舎内やイベント、区報で受診勧奨・資料の展示等を行う		2 受動喫煙の防止と禁煙											
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上											
①市民ががん検診を受けたり、自己検診を各自で実施したりすることで、早期発見・早期治療に結びつける ②がん検診の受診勧奨、がんに対する正しい知識の普及により、受診意欲の向上を図る		4 がん検診の質の向上											
		5 在宅医療の推進											
		6 緩和ケアの充実											
		7 相談支援体制の活用											
		8 情報提供の充実											
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実											
	事業の対象者												
さいたま市民													
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体													
総務課、区民まつり実行委員会													
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)		対象者、実施日時、参加人数など									
		①	②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		
成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義	継続	○											保健センター主催の教室に参加した市民、年間を通じて、10~42名/回×11回
血圧測定コーナー（区民課前）へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置	継続		○										緑区役所に来庁された市民、年間を通じて実施
緑区区民まつりにおけるがん検診に関するポスターやリーフレットの掲示と配布など	継続	○											区民まつり開催中止
さいたま市報（緑区版）へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載	継続	○											緑区在住の市民、市報1月号に掲載
乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施	継続	○											区内在住18~64歳の女性、10月28日に実施、10名
			○										
			○										
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響											
生活習慣病を振り返りつつ、乳がんについて学ぶ教室を実施した。教室後のアンケート結果から、参加者全員が乳がん自己検診やがん検診を受けることに前向きな回答が得られ、良い意識づけができた。 緑区役所区民課前や保健センター前でがん検診等のポスター掲示やリーフレットの配布を実施し、情報提供をした。		教室実施にあたり、適切な距離を保つために定員数を25%減にして実施した。 啓発のための資料は昨年度と比較すると配布数が減少、区民まつりは開催されなかったため啓発の機会が得られなかった。											

各団体取組シート

団体名：岩槻区役所保健センター		令和 2 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及	
①がん検診の受診勧奨 ②がん予防についての普及啓発		2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標	分野別 施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上	
①区民が、がん検診を受け早期発見を図ることで、早期治療に結びつける。 ②区民が、がん予防についての知識を得る。		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者			
岩槻区民			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
子育て支援センターいわつき、児童センター、岩槻区役所観光経済室、岩槻区役所コミュニティ課			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
区報へのがん検診受診勧奨と禁煙記事の掲載	継続	1 ② ③ 4 5 6 7 8 9	年3回(4月、10月、1月)
区内各施設にて、がん検診受診勧奨ポスターの掲示	継続	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	子育て支援センター・児童センター利用者(通年)
区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	区役所来庁者(通年)
保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	生活習慣病予防教室等参加者(年2回10名) 母子保健事業参加者(年8回55名)
岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	岩槻駅利用者
区主催事業での啓発	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	コミュニティ課主催サッカー教室参加者62組
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響	
母子保健事業に普及啓発を組み込むなど、新型コロナウイルス流行下において実施可能な方法で普及啓発を行った。来年度も、新型コロナウイルス感染症の影響下でより効果的な取組になるよう工夫したい。		新型コロナウイルス感染症の流行による緊急事態宣言の発出に伴い、中止となった事業・イベントがあった。実施した事業も、新型コロナウイルス感染症対策として人数や内容の大幅な制限もあったため、計画通り実施できない取組もあった。	

さいたま市がん対策推進計画  
令和3年度 各団体取組シート

目 次

【市民・事業者】

○Çava! (サヴァ) ～さいたま BEC～	1
○さいたま労働基準監督署	2
○さいたま商工会議所女性会	3

【保健医療関係者】

○さいたま赤十字病院	4
○自治医科大学附属さいたま医療センター	5
○さいたま市立病院	9
○さいたま市4医師会連絡協議会	11
○さいたま市歯科医師会	12
○さいたま市薬剤師会	14
○埼玉県看護協会	15
○埼玉県訪問看護ステーション協会	16

【市】

○健康増進課	17
○地域医療課	18
○地域保健支援課	19
○いきいき長寿推進課	20
○指導1課	21
○健康教育課	22
○西区役所保健センター	23
○北区役所保健センター	24
○大宮区役所保健センター	25
○見沼区役所保健センター	26
○中央区役所保健センター	27
○桜区役所保健センター	28
○浦和区役所保健センター	29
○南区役所保健センター	30
○緑区役所保健センター	31
○岩槻区役所保健センター	32

# 各団体取組シート

<b>団体名 : Çava! ~さいたまBEC~</b>		<b>令和 3 年度分</b>	
<b>事業名</b>		分野別 施策 ( 参 考 )	1 がんに関する正しい知識の普及
①科学的根拠に基づいた知識の普及。 ②体験者が安心して集まれる場所を提供。			2 受動喫煙の防止と禁煙
<b>事業の目標</b>			3 がん検診の受診率の向上
①乳がんと告知された時から、正しい情報がどこにあるのかをおしゃべり会等を通して伝えていく事。 ②体験者同士が思いを共有し、孤独感から開放され一歩を踏み出すきっかけを作り、安心して集える場所を提供する事。			4 がん検診の質の向上
<b>事業の対象者</b>		5 在宅医療の推進	6 緩和ケアの充実
乳がん体験者			
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>			
<b>取組の内容</b>	新規 継続	<b>分野別施策</b> (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
月1度 体験者対象おしゃべり会	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	
不定期 再発転移経験者のおしゃべり会	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	
体験者対象 イベント各種	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	
乳がん体験者のためのヨガ (NYOGA)	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	
乳がん体験者のための運動教室 (エアロ、筋トレ)	新 規	① 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
<b>取組の成果、感想など</b>		<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>	
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

# 各団体取組シート

<b>令和 3 年度分</b>	
<b>団体名:さいたま労働基準監督署</b>	
<b>事業名</b>	分野別 施策 (参考)
①事業場における治療と職業生活の両立支援対策 ②職場における受動喫煙防止対策	
<b>事業の目標</b>	
①治療と仕事の両立支援の取組を更に普及させるため「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」及び「企業・医療機関連携マニュアル」の周知。 ②事業主等が積極的に受動喫煙防止対策に取り組むよう、「職場における受動喫煙防止のためのガイドライン」の周知啓発、同対策助成金、相談支援の利用促進。	
<b>事業の対象者</b>	
管内の事業場	
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>	
浦和地区労働基準協会、大宮地区労働基準協会、埼玉産業保健総合支援センター	
<b>取組の内容</b>	<b>新規 継続</b>
	<b>分野別施策</b> (該当する数字に○)
	1 2 3 4 5 6 7 8 9
全国労働衛生週間及び同準備期間における周知	継続
	1 2 3 4 5 6 7 8 9
労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知	継続
	1 2 3 4 5 6 7 8 9
	1 2 3 4 5 6 7 8 9
	1 2 3 4 5 6 7 8 9
	1 2 3 4 5 6 7 8 9
	1 2 3 4 5 6 7 8 9
<b>取組の成果、感想など</b>	<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。)</p>	

# 各団体取組シート

<b>団体名：さいたま商工会議所女性会</b>		<b>令和 3 年度分</b>	
<b>事業名</b>	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
がん検診の受診勧奨		2 受動喫煙の防止と禁煙	
<b>事業の目標</b>		3 がん検診の受診率の向上	
①会員ががん検診を受けることで、早期発見・早期治療に結びつける。		4 がん検診の質の向上	
②医療用ウィッグの毛髪提供の呼びかけをする。		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
<b>事業の対象者</b>			
女性会会員とその家族			
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
総会等会議にがん検診の受診勧奨等の周知	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	会員、会議開催時、約80人
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
<b>取組の成果、感想など</b>		<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>	
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名:さいたま赤十字病院		令和 3 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及	
地域がん診療連携拠点病院	がんゲノム医療連携病院	分野別 施策 (参考)	2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標			3 がん検診の受診率の向上
①地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院としての役割を遂行し、がん診療の質向上に寄与する。 ②がん診療における基盤の強化を図るため、緩和ケア研修会への医師受講率90%以上を維持し、がん患者および家族への支援を行う。 ③がん患者が治療を受けながら働ける環境を整えるため、治療と仕事の両立を支援する。			4 がん検診の質の向上
			5 在宅医療の推進
			6 緩和ケアの充実
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者		がん患者・家族、一般市民、来院者、職員	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		前橋赤十字病院、足利赤十字病院、NPO法人がんと暮らしを考える会、アデランス	
取組の内容	新規	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
	継続		
がん診療連携セミナーの開催	継続	①2 3 4 5 6 7 8 9	院内外の医療従事者 2回/年 秋・冬開催予定 約100人/回
病院内および敷地内の全面禁煙	継続	1 ②3 4 5 6 7 8 9	患者・家族・来院者・職員
緩和ケア研修会の開催	継続	1 2 3 4 5 ⑥7 8 9	院内の医療従事者 1回/年 7月予定 (予備:9月) 30名募集 院外の受け入れは状況により判断
緩和ケアチーム合同カンファレンス	継続	1 2 3 4 5 ⑥7 8 9	前橋赤十字病院 足利赤十字病院 緩和ケアチーム 日程未定
がん相談	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦⑧ 9	院内外がん患者・家族、一般の方、医療関係者 月～金曜日(祝日除く) 9:00～16:30
がんサロン・アピアランスケア	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦⑧ 9	院内外がん患者・家族 毎月第3金曜日 14:00～15:00 アピアランスケアのみ 第1木曜日 14:00～16:00 状況により開催検討
社会保険労務士およびファイナンシャルプランナーによる仕事と家計の相談会(就労支援)	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦⑧ 9	院内外がん患者・家族 毎月第2水曜日 50分×3枠 ①13:30～14:20 ② 14:30～15:20 ③15:30～ 16:20
がん患者・家族向けのがん冊子の無料提供、インターネット環境、図書 の整備	継続	1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	がん患者・家族、一般の方 利用時間:平日8:30～17:00
「地域ケア意見交換会」の開催(患者情報の共有や現状の問題・課題についての意見交換会)	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 ⑨	さいたま市内の在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、基準薬局等の医療従事者の方
がんゲノム医療	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦⑧ 9	2020年度は院内対象であったが、 2021年度より、院外の方へも対象を拡大
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響	
<p style="color: red; font-weight: bold;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

## 各団体取組シート

<b>団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター</b>		<b>令和 3 年度分</b>	
<b>事業名</b>	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
・職員の健康管理、がんに関する知識普及		2 受動喫煙の防止と禁煙	
<b>事業の目標</b>		3 がん検診の受診率の向上	
・職員の健康管理、がんに関する知識普及に努める	4 がん検診の質の向上		
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
<b>事業の対象者</b>			
全職員、私学共済被扶養者			
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>			
一般社団法人大宮医師会、埼玉県立がんセンター、日本私立学校振興・共済事業団			
<b>取組の内容</b>	<b>新規 継続</b>	<b>分野別施策</b> (該当する数字に○)	<b>対象者、実施日時、参加人数など</b>
一般定期健康診断	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	全職員を対象に労働安全衛生法に基づく健康診断を実施（年2回の機会を提供）
特定業務従事者に対する健康診断	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	特定業務従事者を対象に労働安全衛生法に基づく健康診断を実施（配置換えの際及び6カ月以内ごとに1回定期に実施）
特殊健康診断	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	該当職員を対象に法令に基づく特殊健康診断を実施（配置換えの際及び6カ月以内ごとに1回定期に実施）
人間ドックの利用費用補助	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 ⑨	35歳以上の私学共済加入者及び被扶養者に対し、人間ドック利用料の助成
郵送検診の実施	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 ⑨	30歳以上の私学共済加入者及び被扶養者に対し、大腸がん、肺がん、胃がん、前立腺がんの郵送検診を実施
緩和ケア研修会の開催	継続	① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	医療従事者を対象に厚生労働省指針に基づく緩和ケア研修会を年1回開催
化学療法研修会の開催	継続	① 2 3 4 5 6 7 ⑧ ⑨	医療従事者を対象に化学療法に関する最新の知見を提供
<b>取組の成果、感想など</b>		<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>	
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">（次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。）</p>			

## 各団体取組シート

<b>団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター</b>		<b>令和 3 年度分</b>	
<b>事業名</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受動喫煙防止、禁煙推進</li> <li>・最新知識、技術の習得支援</li> </ul>	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
<b>事業の目標</b>		2 受動喫煙の防止と禁煙	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙によるがん罹患の防止に努める</li> <li>・最新知識、技術の習得支援に努める</li> </ul>		3 がん検診の受診率の向上	
		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
<b>事業の対象者</b>			
全職員、私学共済被扶養者、看護師			
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>			
日本私立学校振興・共済事業団、自治医科大学大学院医学研究科、自治医科大学看護師特定行為研修センター			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
私学事業団健康相談ダイヤル	継続	① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	私学共済加入者に健康医療等電話相談サービスを実施（健康相談、医療相談、介護相談など）
職場巡視における喫煙状況調査の実施	継続	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	全職員を対象に定期的に喫煙の状況について調査を実施
敷地内全面禁煙	継続	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	受動喫煙防止の観点から敷地内全面禁煙を実施
禁煙外来の開設	継続	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	健康保険を利用した禁煙外来を開始し、喫煙者率の減少に努めている
がん化学療法看護認定看護師 がん性疼痛看護認定看護師等の育成	継続	① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	希望職員に対し、資格取得にかかる費用の助成
臨床腫瘍学講義の実施	継続	① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	自治医科大学大学院医学研究科（栃木県下野市）で開講している臨床腫瘍学の講義を当センターでも受講可能にしている
看護師特定行為研修の実施	継続	① 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 ⑧ ⑨	手順書により一定の診療の補助を行うことのできる看護師の養成
<b>取組の成果、感想など</b>		<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>	
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red; font-weight: bold;">（次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。）</p>			

# 各団体取組シート

<b>団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター</b>		<b>令和 3 年度分</b>	
<b>事業名</b>	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
・患者・市民向け知識普及		2 受動喫煙の防止と禁煙	
<b>事業の目標</b>		3 がん検診の受診率の向上	
・患者および市民に対し、がんに関する正しい知識の普及に努める		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
<b>事業の対象者</b>			
外来患者、入院患者、患者家族、地域の医療従事者、一般市民			
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>			
さいたま市4医師会、埼玉新聞社、ハローワーク大宮			
<b>取組の内容</b>	新規 継続	<b>分野別施策</b> (該当する数字に○)	<b>対象者、実施日時、参加人数など</b>
公開講座の開催	継続	① 2 ③ 4 5 6 ⑦ ⑧ ⑨	市民向けに公開講座を開催し、がんに関する正しい知識の普及に努めている(年1回開催)
がんサロンの開催	継続	① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	がん患者や家族が療養体験や気持ちを分かち合い、勉強会などを行うがんサロンを年6回開催
おしごと継続・就労相談会の開催	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ ⑨	ハローワーク大宮と連携し、就労相談会を院内で開催(毎月2回開催、原則第1火曜日と第3金曜日、事前予約制)
緩和ケア研修会の開催(再掲)	継続	① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	医療従事者を対象に厚生労働省指針に基づく緩和ケア研修会を年1回開催(地域の医療従事者も参加可能)
院内がん登録の公表	継続	1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	がん診療連携拠点病院における院内がん登録標準登録様式に基づき、1腫瘍1登録とし、入外を問わず登録し、ホームページ上で公表
がん相談支援センターの開設	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	患者・家族等の医療・療養・生活上の不安や悩みなどに相談対応
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
<b>取組の成果、感想など</b>		<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>	
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red; font-weight: bold;">(次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

# 各団体取組シート

<b>団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター</b>		<b>令和 3 年度分</b>	
<b>事業名</b>	分野別 施策 ( 参考 )	1 がんに関する正しい知識の普及	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者・市民向け知識普及</li> <li>・緩和ケア実践</li> </ul>		2 受動喫煙の防止と禁煙	
<b>事業の目標</b>		3 がん検診の受診率の向上	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者及び市民に対し、がんに関する正しい知識の普及に努める</li> <li>・適切なタイミングでの緩和ケア実践に努める</li> </ul>		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者及び市民に対し、がんに関する正しい知識の普及に努める</li> <li>・適切なタイミングでの緩和ケア実践に努める</li> </ul>		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
<b>事業の対象者</b>		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
外来患者、入院患者、患者家族、一般市民			
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>			
<b>取組の内容</b>	新規 継続	<b>分野別施策</b> (該当する数字に○)	<b>対象者、実施日時、参加人数など</b>
セカンドオピニオン外来の開設	継続	① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	自由診療にて専門の医師がセカンドオピニオンに対応
緩和ケアチームを組織	継続	① 2 3 4 5 ⑥ ⑦ ⑧ 9	医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなどによる緩和ケアチームを組織し、適切なタイミングで緩和ケアを提供できる体制を整備
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
<b>取組の成果、感想など</b>		<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>	
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red; font-weight: bold;">(次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

## 各団体取組シート

<b>団体名：さいたま市立病院</b>		<b>令和 3 年度分</b>	
<b>事業名</b>	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
がん患者・家族の支援		2 受動喫煙の防止と禁煙	
<b>事業の目標</b>		3 がん検診の受診率の向上	
がん患者と家族が抱える、がんに伴う様々な苦痛の緩和・家族への支援を行う		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
<b>事業の対象者</b>			
がん患者及びその家族			
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>			
さいたま市保健福祉局保健部健康増進課、ハローワーク大宮、社会保険労務士			
<b>取組の内容</b>	新規 継続	<b>分野別施策</b> (該当する数字に○)	<b>対象者、実施日時、参加人数など</b>
がん患者サロン、はなみずき会 (ミニレクチャー、座談会)	継続	①2 3 4 5 6 ⑦8 9	がん患者及びその家族(受診の有無は問わない。)毎月第4水曜日13:00~15:00
告知後の患者支援	継続	①2 3 4 5 ⑥7 8 9	市立病院でがん告知を受けた患者・家族
緩和ケアチーム活動	継続	①2 3 4 5 ⑥7 8 9	市立病院の入院中のがん患者・家族 1回/Wの回診、カンファレンス
がん相談支援センターの活用	継続	①2 3 4 5 6 ⑦8 9	がん患者及びその家族(受診の有無は問わない。)平日の8:30~17:00 面談又は電話相談
就労支援	継続	1 2 3 4 5 6 ⑦⑧⑨	市立病院かかりつけのがん患者 月1回 社会保険労務士、ハローワーク 職員による相談会実施
退院調整看護師の活用	継続	1 2 3 4 ⑤6 7 8 9	がん患者・家族を対象に在宅への調整、 退院後、自宅への訪問を行っている。
さいたま浦和地区緩和医療研究会 を介しての地域連携	継続	1 2 3 4 ⑤6 7 8 ⑨	さいたま浦和地区の医療従事者を対象に年に2回、講演 や連携のためのディスカッションを行い、情報交換と顔 の見える関係づくりをしている。
<b>取組の成果、感想など</b>		<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>	
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red; font-weight: bold;">(次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

# 各団体取組シート

<b>団体名:さいたま市立病院</b>		<b>令和 3 年度分</b>	
<b>事業名</b>	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
がん患者・家族の支援		2 受動喫煙の防止と禁煙	
<b>事業の目標</b>		3 がん検診の受診率の向上	
がん患者と家族が抱える、がんに伴う様々な苦痛の緩和・家族への支援を行う		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
事業の対象者		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
がん患者及びその家族		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>			
さいたま市保健福祉局保健部健康増進課、ハローワーク大宮、社会保険労務士			
<b>取組の内容</b>	新規 継続	<b>分野別施策</b> (該当する数字に○)	<b>対象者、実施日時、参加人数など</b>
緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる	継続	①2 3 4 5 ⑥7 8 9	がん診療に携わる院内外の医師を対象に行っている緩和ケア研修会でがんサバイバーの方からの講演を新規で取り入れる
がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導	継続	①2 3 4 5 ⑥7 8 9	入院のがん患者にスクリーニングを実施し、3以上の患者に対し作成したパンフレットを使用し、セルフケアを指導する
経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導	継続	①2 3 4 5 ⑥7 8 9	経口抗がん剤を使用する患者の皮膚障害を予防するために外来からセルフケア指導、評価を行う
がん治療時の医科歯科連携を行い、治療に伴う口腔内合併症を予防する	継続	①2 3 4 5 6 7 8 9	がん治療（手術、化学療法、放射線療法）前の患者に対し、歯科と連携し口腔内の環境を整える
がん患者のアピランスケア支援	継続	① 2 3 4 5 ⑥ 7 ⑧ 9	がん患者に対し外見ケア支援として情報提供やケア方法の検討・アドバイスを行う。
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
<b>取組の成果、感想など</b>		<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>	
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

## 各団体取組シート

<b>団体名：さいたま市4医師会連絡協議会</b>		<b>令和 3 年度分</b>	
<b>事業名</b>	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
①がん検診の受診勧奨や啓発 ②在宅医療・緩和ケアの推進		2 受動喫煙の防止と禁煙	
<b>事業の目標</b>		3 がん検診の受診率の向上	
①がん検診受診率の向上 ②研修会の開催や参加等により、在宅医療・緩和ケアの理解を深める。		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
<b>事業の対象者</b>			
市民、医師会会員、検診実施医療機関、訪問看護ステーション、介護支援事業所、地域包括支援センター			
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>			
訪問看護ステーション、介護支援事業所、地域包括支援センター、さいたま市			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
がん検診の実施及び受診勧奨	継続	1 2 ③ ④ 5 6 7 8 9	R3.4.27～R4.3.12実施 胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん（触診）、乳がん（X線）、子宮がん（頸）、子宮がん（体）
浦和在宅医療支援相談センターを通じたがん患者への在宅医療	継続	1 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ 8 9	
在宅医療・緩和ケアに関する研修会の開催	継続	1 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 8 9	がん拠点病院、地域医療機関、多職種の連携の構築
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
<b>取組の成果、感想など</b>		<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>	
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">（次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。）</p>			

## 各団体取組シート

団体名:さいたま市歯科医師会(浦和歯科医師会)		令和 3 年度分	
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
①会員向け口腔がん対策講習会		2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上	
①昨今は、行政が主体となり市民対象のがん検診に口腔がん検診を導入している事例も多くみられる。将来的に当会としても、市民のお口の健康を守り、口腔保健についての意識を高めること・全会員が同等の知識と技量を習得しておくことを目的とする。		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者			
浦和歯科医師会会員			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
口腔がんに関する研修	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	浦和歯科医師会会員、WEB配信予定
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響	
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

# 各団体取組シート

団体名:さいたま市歯科医師会(大宮歯科医師会)		令和 3 年度分	
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
①大宮歯科医師会公開市民講座		2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上	
①講話・健診・歯科相談を通じ地域市民のお口の健康についての意識高揚を図る		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者			
さいたま市在住の40歳以上			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
口腔がんに関する講話・健診・歯科相談	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響	
今回は記入不要です。 (次回、令和4年2月ごろに記載させていただきます。)			

# 各団体取組シート

<b>団体名：(一社)さいたま市薬剤師会</b>		<b>令和 3 年度分</b>	
<b>事業名</b>	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
①「さいたま地域連携Network」を基盤とした地域連携の推進 ②在宅医療の支援管理体制の整備 ③かかりつけ機能の推進		2 受動喫煙の防止と禁煙	
<b>事業の目標</b>		3 がん検診の受診率の向上	
①入退院時における連携や外来業務での連携を含め、病院・薬局で共通統一化した運用（フローチャート等）を決定し、連携を推進する。 ②在宅支援薬局リストを改訂、現状に即した内容で連携の充実をはかる。 ③薬剤師の職能を「相談」や「健康サポート」の分野で発揮できるよう、他団体での取り組みや他地域での活動に参加し、地域として標準化できるような体制を構築する。	4 がん検診の質の向上		
<b>事業の対象者</b>	5 在宅医療の推進		
地域の保険薬局・薬剤師・医療機関・地域住民		6 緩和ケアの充実	
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>		7 相談支援体制の活用	
医師会、歯科医師会、病院、診療所、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、他薬剤師会		8 情報提供の充実	
<b>取組の内容</b>	<b>新規 継続</b>	<b>分野別施策</b> (該当する数字に○)	<b>対象者、実施日時、参加人数など</b>
癌治療における薬薬連携体制の構築	継続	1 2 ③ 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	各基幹病院、さいたま市薬剤師会会員薬局
在宅医療支援薬局リストの改訂	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	医師会、医療機関、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、行政窓口
癌に関する専門薬剤師の育成	新規	① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	さいたま市薬剤師会会員・医師・メーカー等共催での研修
かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充	継続	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	日本薬剤師会、埼玉県薬剤師会との共同による育成研修
他団体や地域におけるイベント等に参加。教育者としての人材育成を行う	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	さいたま市薬剤師会会員、各基幹病院
各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施（薬物乱用防止、健康フェア）	継続	1 ② 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	さいたま市薬剤師会会員、市民
地域寄り添うためのコミュニケーションに特化した研修会の開催	継続	1 2 3 4 5 ⑥ ⑦ ⑧ 9	さいたま市薬剤師会会員
<b>取組の成果、感想など</b>	<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>		
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：埼玉県看護協会		令和 3 年度分	
事業名	看護職に対するがん看護についての集合研修	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
事業の目標			2 受動喫煙の防止と禁煙
がん看護について看護専門職として必要な看護実践能力向上を養う			3 がん検診の受診率の向上
			4 がん検診の質の向上
事業の対象者	5 在宅医療の推進	6 緩和ケアの充実	
会員および非会員の県内看護職		7 相談支援体制の活用	8 情報提供の充実
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
特になし			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
がん薬物療法看護	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	会員・非会員 9月3日 150人 (ZOOM)
がん性疼痛看護	継続	① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	会員・非会員 6月16日 150人 (ZOOM)
がん患者のアピアランスケア	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	会員・非会員 11月19日 (半日) 100人 (対面)
がんサイバー	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	会員・非会員 令和4年1月予定 100人 (ZOOM)
がん治療の最前線	新規	① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	会員・非会員 12月17日 (半日) 100人 (ZOOM)
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響	
<p><b>今回は記入不要です。</b> (次回、令和4年2月ごろに記載させていただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名: 埼玉県訪問看護ステーション協会		令和 3 年度分									
事業名		分野別施策(参考)									
①訪問看護師の確保・育成 ②経営安定化支援 ③医療・介護の連携 ④在宅療養の知識の普及											
事業の目標											
①訪問看護師の確保・育成をすることにより、在宅看取りが増やせる体制作りが行えるため、育成が必要である。 ②訪問看護STの経営をサポートし、安定化を図ることにより、在宅医療の推進となる。 ③多職種連携・市民向けの窓口を広げ、情報提供の充実を図る。 ④教育ステーション地域の促成に合わせた教育・連携を図る。		1 がんに関する正しい知識の普及	2 受動喫煙の防止と禁煙								
事業の対象者		3 がん検診の受診率の向上	4 がん検診の質の向上								
住民、患者、県内外医療従事者、地域包括ケアシステムに関わる職種、県内訪問看護ステーション											
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体											
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)		対象者、実施日時、参加人数など							
		1	2		3	4	5	6	7	8	9
訪問看護師育成プログラム普及	継続	①	2	3	4	⑤	6	7	8	9	訪問看護師の育成のための研修開催 (前期・後期) 7月から9月 10月から3月
訪問看護ステーション体験実習	継続	1	2	3	4	⑤	6	7	8	⑨	中高校生・潜在看護師・病院看護師等が訪問看護を体験できる実習 年間230名受入
訪問看護ST経営サポート	継続	1	2	3	4	⑤	6	7	8	9	経営に対する相談支援 個別経営相談4件 医療事務研修 さいたま市、川越市 各50人
コールセンターの設置・運営	継続	1	2	3	4	⑤	6	⑦	⑧	9	訪問看護ステーション職員 一般職員等平 日10° ~16° 対応 看護管理者月水金10° ~16° 対応
教育ステーション事業	継続	①	2	3	4	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	訪問看護の知識、技術向上のための研修の実施 多職種との連携拠点 新規事業所の職員の同行訪問による訪問看護体験 県内3ヶ所 オンラインでの研修導入
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響									
<p style="color: red; font-weight: bold;">今回は記入不要です。</p> <p>(次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。)</p>											

## 各団体取組シート

<b>団体名：健康増進課</b>		<b>令和 3 年度分</b>	
<b>事業名</b>	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
がん対策推進講演会 がん教育出前講座 若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業 受動喫煙対策		2 受動喫煙の防止と禁煙	
<b>事業の目標</b>		3 がん検診の受診率の向上	
①がんに関する正しい知識の普及 ②がん患者の療養生活の質の向上 ③禁煙についての情報発信		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
<b>事業の対象者</b>			
市民、医療関係者			
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>			
さいたま市4医師会、さいたま市歯科医師会、がん診療連携拠点病院、埼玉県がん診療指定病院、市立各学校、健康教育課			
<b>取組の内容</b>	新規 継続	<b>分野別施策</b> (該当する数字に○)	<b>対象者、実施日時、参加人数など</b>
がん対策推進講演会	継続	① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	市民、医療従事者等が対象
がん教育出前講座	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	市立各学校の児童・生徒、保護者、教員を対象に出前講座を実施。 実施回数：年間6回程度 講師：医師、看護師、がん経験者
医療用ウィッグ・サポート店一覧の掲載	継続	1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	医療用ウィッグの購入や調整ができる美容室の情報をまとめた一覧を作成し、市ホームページに掲載（随時情報を更新）。
若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業	新規	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	若年の末期がん患者の、在宅における療養生活を支援し、患者及びその家族の経済的負担の軽減を図るため、補助金を交付する。
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
	継続	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
<b>取組の成果、感想など</b>		<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>	
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red; font-weight: bold;">(次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：地域医療課		令和 3 年度分	
事業名	分野別 施策 ( 参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
医療機関情報の発信		2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上	
医療機関検索サイト「医療なび」の実施		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者			
市民			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
「医療なび」の周知	継続	1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	市民、通年(365日)
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響	
<p><b>今回は記入不要です。</b> (次回、令和4年2月ごろに記載させていただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：地域保健支援課		令和 3 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及	
①がん検診の受診向上対策の推進 ②がん検診精密検査対象者への受診勧奨		分野別 施策 ( 参考)	2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標			3 がん検診の受診率の向上
①市民のがん検診受診を促し、受診率を向上させる。 ②がん検診及び精密検査の必要性の正しい知識の啓発と受診促進を行うことで質の高い検診を目指す。			4 がん検診の質の向上
事業の対象者		5 在宅医療の推進	6 緩和ケアの充実
市民		7 相談支援体制の活用	8 情報提供の充実
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
各区保健センター、中央図書館、医師会			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
がん検診対象初年度無料事業制度の実施	継続	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	今年度初めて市のがん検診の対象になった市民、令和3年度の検診実施期間中
がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	市のがん検診の対象の市民、個別勧奨はがき：令和3年4月中旬発送予定、再勧奨はがき：令和3年9月下旬発送予定
さいたま市成人式での子宮頸がん検診の啓発	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	今年度20歳になった市民（新成人）令和4年成人式で実施予定
精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨	継続	① 2 ③ ④ 5 6 7 8 9	がん検診で精密検査が必要だと判断された市民のうち未受診者、1次検診受診報告日より4か月後
中央図書館でがん特集コーナーを作成、資料を配架	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	令和3年10月実施予定
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響	
<p><b>今回は記入不要です。</b> (次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

# 各団体取組シート

<b>団体名:いきいき長寿推進課</b>		<b>令和 3 年度分</b>	
<b>事業名</b>	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
在宅医療・介護連携推進事業の実施		2 受動喫煙の防止と禁煙	
<b>事業の目標</b>		3 がん検診の受診率の向上	
地域の医療・介護関係者による会議の開催、在宅医療・介護関係者の研修等を行い、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を推進する。		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
<b>事業の対象者</b>			
医療関係者、介護関係者、行政			
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>			
医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護事業所、療法士会、栄養士会、介護支援専門員協会、社会福祉協議会、地域包括支援センター、各区役所高齢介護課、介護保険課、地域医療課			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	在宅医療・介護連携推進会議において、現状や課題について情報共有、対応策の検討などを行います。
医療・介護関係者の研修	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	医療・介護等の多職種を対象として、医療や介護に関する研修会を開催する。
地域住民への普及啓発	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	地域住民を対象とした講演会を開催します。また、在宅医療連携拠点の普及啓発に取り組みます。
医療・介護関係者の情報共有の支援	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	市全域での入退院支援ルール作成に取り組み、情報共有様式等の検討を行います。
切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制の構築を検討し、市全域での入退院支援ルール作成に取り組みます。
在宅医療・介護連携に関する相談支援	継続	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	ケアマネージャーの資格を有する看護師などがコーディネーターとして、市民や関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談に対応します。
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
<b>取組の成果、感想など</b>		<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>	
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

## 各団体取組シート

<b>団体名:教育委員会学校教育部指導1課</b>		<b>令和 3 年度分</b>	
<b>事業名</b>	<b>分野別 施策 ( 参 考 )</b>	1 がんに関する正しい知識の普及	
学習指導要領に基づく保健学習指導		2 受動喫煙の防止と禁煙	
<b>事業の目標</b>		3 がん検診の受診率の向上	
①がんに関する正しい知識を習得させる。 ②喫煙に関する正しい知識を習得させる。		4 がん検診の質の向上	
		5 在宅医療の推進	
		6 緩和ケアの充実	
		7 相談支援体制の活用	
		8 情報提供の充実	
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
<b>事業の対象者</b>			
市立全小・中学校の児童生徒			
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>			
教育委員会学校教育部健康教育課			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
保健学習の実施	継続	① ② 3 4 5 6 7 8 9	市立全小・中学校の児童生徒に対して確実に保健学習を行う。
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
<b>取組の成果、感想など</b>		<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>	
<p style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名:教育委員会健康教育課		令和 3 年度分	
事業名	①健康教育（がん教育等）研究委嘱	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
事業の目標			2 受動喫煙の防止と禁煙
学校におけるがん教育の推進			3 がん検診の受診率の向上
			4 がん検診の質の向上
事業の対象者	5 在宅医療の推進	6 緩和ケアの充実	
市立学校児童生徒・教職員	7 相談支援体制の活用	8 情報提供の充実	9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体	教育委員会指導1課、健康増進課		
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
健康教育（がん教育等）研究委嘱	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	令和元年～令和3年 八王子中学校
各学校でのがん教育の取組の支援	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	市立各学校
文部科学省主催研修会 参加	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	健康教育課、市内教職員
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果、感想など	新型コロナウイルス感染症の影響		
<p><b>今回は記入不要です。</b> (次回、令和4年2月ごろに記載させていただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：西区役所保健センター		令和 3 年度分	
事業名	分野別施策（参考）	1 がんに関する正しい知識の普及	
がん検診受診勧奨 がんについての啓発		2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上	
①がん検診を受診し、早期発見・治療につながる		4 がん検診の質の向上	
②がんについての知識を持ち、予防やセルフチェックなど自身でケアすることができる	5 在宅医療の推進		6 緩和ケアの充実
③自身の健康について関心を持ち、相談・受診などの行動をとれる	7 相談支援体制の活用		8 情報提供の充実
事業の対象者	9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
市民全般、市内在住のがん検診受診対象者およびその家族			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
JR東日本（指扇駅）			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
がん検診受診勧奨	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	区役所内2か所にてがん検診受診勧奨について掲示、各教室にて随時受診勧奨、区報掲載
駅前での啓発活動	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	11月24日、指扇駅にて検診受診勧奨等について啓発グッズを配布予定
がん精健未受診フォロー（女性のがん）	継続	① 2 ③ 4 5 6 ⑦ 8 9	精密健診未受診の方に受診状況の確認、および受診勧奨の連絡
健康相談（随時）	継続	① 2 ③ 4 5 6 ⑦ 8 9	来所・電話などがんについての相談を随時行う
乳がんについての講話（依頼教育）	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	乳幼児を持つ保護者を対象に10月に実施
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響	
<p><b>今回は記入不要です。</b> (次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：北区役所保健センター		令和 3 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及	
①がんに関する知識の普及 ②がん検診の重要性について啓発 ③受動喫煙についての啓発および禁煙方法の周知		分野別 施策 ( 参考)	2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標			3 がん検診の受診率の向上
①がんやがん検診について知り、健(検)診の重要性を理解する。		4 がん検診の質の向上	5 在宅医療の推進
②たばこの害や受動喫煙について理解し、禁煙の方法を知る。		6 緩和ケアの充実	7 相談支援体制の活用
事業の対象者		8 情報提供の充実	9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
北区民			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
ステラタウン、児童センター、子育て支援センター等			
取組の内容	新規	分野別施策	対象者、実施日時、参加人数など
	継続	(該当する数字に○)	
健康クイズラリーにおいてがん検診の啓発	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 ⑨	ステラタウンの来店者、2021年9月17日に実施予定。
育児学級・離乳食教室でがん検診受診勧奨のポケットティッシュ配布	継続	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	離乳食教室・育児学級の対象者の親を対象に、年24回 各回16人程度予定。
エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示・チラシの配布	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	保健センター来所者へポスターなど掲示。
健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	小学生の子を持つ保護者、2021年8月11日に実施予定。
子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	子育て支援センター等来所者、依頼時に実施。
けんこうギャラリーにおいてがん検診の啓発	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	新型コロナウイルスの感染状況により健康クイズラリーが実施できない場合、区役所で実施予定。
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響	
<p style="color: red; font-weight: bold;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：大宮区役所保健センター		令和 3 年度分	
事業名	がんの予防と早期発見の推進	分野別施策（参考）	1 がんに関する正しい知識の普及
事業の目標			2 受動喫煙の防止と禁煙
<ul style="list-style-type: none"> <li>がん予防の推進</li> <li>がんの早期発見・早期治療の推進</li> </ul>			3 がん検診の受診率の向上
			4 がん検診の質の向上
事業の対象者	5 在宅医療の推進	6 緩和ケアの充実	
市民（大宮区民）	7 相談支援体制の活用	8 情報提供の充実	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体	9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
大宮区役所総務課、コミュニティ課、北部市税事務所、大宮図書館、子育て支援センターおおみやさいたま市食品衛生協会、大宮アルディージャ、大宮高島屋			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
がん検診精密検査未受診フォロー(乳がん・子宮がん精密検査未受診者)	継続	① 2 ③ ④ 5 6 7 8 9	女性のがん検診にて、要精密検査者へ随時実施
区報によるがん検診受診勧奨・正しい知識の啓発	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	市民、受診勧奨月間等で掲載月を調整
がん検診ポスター等の設置	継続	① 2 ③ 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	市民、通年および受診勧奨月間で設置
健康教室での教育・啓発活動	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 ⑧ 9	健康教室等参加者
大宮区主催のイベントでの啓発活動	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 ⑧ ⑨	イベント来場者
大宮区役所内でのちらし配布・パネル設置などの普及啓発	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 ⑧ 9	市民、通年及び受診勧奨月間で設置
大宮高島屋、大宮区役所での館内放送によるがん検診受診勧奨	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 ⑧ ⑨	商業施設利用者、市民 令和3年5月～令和4年3月
取組の成果、感想など	新型コロナウイルス感染症の影響		
<p><b>今回は記入不要です。</b> (次回、令和4年2月ごろに記載させていただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：見沼区役所保健センター		令和 3 年度分	
事業名	分野別施策（参考）	1 がんに関する正しい知識の普及	
①がん検診の受診勧奨 ②喫煙や受動喫煙に対する正しい知識の普及、禁煙支援		2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上	
①がん検診の重要性と正しい知識の普及および啓発を行うことで、検診の受診率向上を図る。 ②測定（可視化）により禁煙意識を高め、禁煙行動のきっかけとなる。受動喫煙について考えるきっかけとなる。	4 がん検診の質の向上		5 在宅医療の推進
	6 緩和ケアの充実		7 相談支援体制の活用
	8 情報提供の充実		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の対象者			
見沼区民			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
総務課			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
教室の中でのがん検診受診勧奨	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	教室参加者、約300名に勧奨
ポケットティッシュの配布	継続	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	教室参加者等約1,000個
展示コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	区役所来庁者、保健センター来所者、常時
がん検診の啓発品（ボールペン・ハンカチ等）の作成・配布	継続	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	教室参加者、保健センター来所者等約300個
公用自転車に受動喫煙のポスターを張り付け普及啓発を実施	継続	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	通年
禁煙週間の取り組み (特設コーナーの設置、広報誌等による普及啓発、受動喫煙防止の普及啓発活動)	継続	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	区役所来庁者、保健センター来所者 5月31日～6月6日
乳がん月間の取り組み (センター職員による乳がん啓発名札の着用、乳がん自己検診法体験による乳がん検診の普及啓発活動)	新規	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	区役所来庁者、保健センター来所者 乳がん月間（10月）
見沼区ふれあいフェアで乳がん自己検診法体験	継続	① 2 3 4 5 6 7 8 9	見沼区ふれあいフェア来場者
取組の成果、感想など	新型コロナウイルス感染症の影響		
<p style="color: red; font-weight: bold;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、令和4年2月ごろに記載させていただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：中央区保健センター		令和 3 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及	
①がん検診受診勧奨		分野別 施策 ( 参考)	2 受動喫煙の防止と禁煙
②乳がん自己検診についての普及啓発			3 がん検診の受診率の向上
③禁煙に関する啓発			4 がん検診の質の向上
事業の目標			5 在宅医療の推進
①がん検診を受け、早期発見を図ることで早期治療に結びつける。 ②喫煙習慣、受動喫煙を減らす。		6 緩和ケアの充実	7 相談支援体制の活用
		8 情報提供の充実	9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の対象者			
①保健センター事業参加者 ②保健センター来所者 ③区内施設利用者			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			
区役所、区内施設、児童センター			
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
①がん検診受診勧奨 (1) 保健センター主催教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施。 (2) 保健センター窓口とロビーに、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布。 (3) 市報中央区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載。 (4) 区民まつり参加者にがん検診受診勧奨啓発品配布	継続	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	(1) 令和3年5月27日 令和3年8月29日 令和3年9月30日 令和3年10月15日 (2) 通年 (3) 令和3年11月、12月 (4) 令和3年11月
②乳がん自己検診についての普及啓発 (1) 児童センター依頼教育にて、乳がん自己検診法について講話実施	継続	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象：児童センター利用の母親(授乳期含む) 実施日：令和3年6・9・10月 参加人数：
(2) 区役所ロビーにて、乳がん自己検診法について講話と啓発活動、資料配布	新規	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：区役所来庁者 実施日：令和3年10月13日 参加人数：
③禁煙に関する啓発 (1) 保健センター主催教室開催時に、禁煙についてミニ講話を実施。 (2) 禁煙週間に合わせ、保健センター窓口とロビーにポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布。 (3) 市報中央区版に禁煙に関する記事を掲載。	継続	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	(1) 令和3年8月29日 令和3年9月30日 (2) 令和3年5月 (3) 令和3年5月
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響	
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和4年2月ごろに記載させていただきます。)</p>			

各団体取組シート

<b>団体名：桜区役所保健センター</b>		<b>令和 3 年度分</b>	
<b>事業名</b>		1 がんに関する正しい知識の普及	
①がん検診の受診勧奨・がんについての普及啓発 ②禁煙に関する普及啓発		分野別施策（参考）	2 受動喫煙の防止と禁煙
<b>事業の目標</b>			3 がん検診の受診率の向上
①桜区区民ががん検診を受け、早期発見を図ることで早期治療に結びつける。 ②がんを含む生活習慣病のリスクである喫煙習慣の減少。			4 がん検診の質の向上
<b>事業の対象者</b>		5 在宅医療の推進	6 緩和ケアの充実
桜区区民		7 相談支援体制の活用	8 情報提供の充実
<b>事業を展開する上で協働した課所、機関、団体</b>		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
ブラザウエスト			
<b>取組の内容</b>	新規 継続	<b>分野別施策</b> （該当する数字に○）	対象者、実施日時、参加人数など
①がん検診受診勧奨 （１）保健センター窓口で、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するパンフレット・啓発品を配布。 （２）保健センター主催健康教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施。 （３）市報桜区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載。 （４）区民ふれあいまつりにて、がんについての健康クイズを実施。 （５）体組成測定会にがん検診啓発パンフレットを配布。 （６）がん検診受診率５０％達成に向けた集中キャンペーン月間に区役所・ブラザウエストの階段に、がんに関する健康クイズを掲示。	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	（１）通年 （２）５月２４日（ＭＩＡ♪） １１月１日（ゆがみ矯正レッスン） （３）１０月 （４）１０月１６日 （５）１０月２７日 （６）１０月１日～１０月２９日
②禁煙 （１）禁煙週間に保健センター窓口やブラザウエスト等で、ポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布。区役所内エレベーター・階段で健康クイズを掲示。 （２）体組成測定会で禁煙に関するパンフレット等の配布。 （３）市報桜区版に禁煙の効果についての記事を掲載。	継続	1 ② 3 4 5 6 7 8 9	（１）５月３１日～６月３０日 （２）５月２８日 （３）５月
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
<b>取組の成果、感想など</b>		<b>新型コロナウイルス感染症の影響</b>	
今回は記入不要です。 （次回、令和４年２月ごろに記載させていただきます。）			

各団体取組シート

団体名：浦和区役所保健センター		令和 3 年度分	
事業名	①がん検診の受診勧奨 ②受動喫煙防止の啓発 ③乳がん自己触診の普及啓発	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
事業の目標			2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標	①がん検診を受け、早期発見を図ることで早期治療に結びつける。 ②受動喫煙の機会を減らし、がんの発生リスクを下げる。 ③乳がん自己触診の実施方法の指導を実施し、検診の受診意欲を高め、乳がん検診の受診率向上および異常の早期発見、早期治療につなげる。		3 がん検診の受診率の向上
事業の目標			4 がん検診の質の向上
事業の目標			5 在宅医療の推進
事業の目標			6 緩和ケアの充実
事業の目標			7 相談支援体制の活用
事業の目標			8 情報提供の充実
事業の目標			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の対象者	浦和区保健センター及び浦和区役所来庁者 教室参加者 浦和区健康まつり来場者		
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体	浦和区総務課、NPO法人Arts&Healthさいたま（市民活動団体）、さいたま市私立幼稚園協会浦和区支部、あけぼの会あけぼの埼玉		
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	両親学級参加者 年12回 公民館等育児相談参加者
健康づくり教室にて、乳がん患者会の講話の機会を設け、若い世代からのがん予防・がん検診の重要性等の意識づけを図る	新規	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	18歳以上の区民 10月1日（金） 定員15名
区内幼稚園の保護者向け教育で、乳がん自己触診について普及啓発、がん検診の受診勧奨	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	幼稚園保護者 年2回
区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発	継続	① ② ③ 4 5 6 7 ⑧ 9	全開庁日
保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発	継続	① ② ③ 4 5 6 7 ⑧ 9	全開庁日
浦和区健康まつりにて、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発	継続	① ② ③ 4 5 6 7 ⑧ 9	11月7日（日）予定 来場者
女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、子宮がん検診の普及啓発	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	随時実施
取組の成果、感想など	新型コロナウイルス感染症の影響		
<p><b>今回は記入不要です。</b> (次回、令和4年2月ごろに記載させていただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：南区役所保健センター		令和 3 年度分		
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及		
①がん検診受診に関する啓発		2 受動喫煙の防止と禁煙		
②がん検診受診勧奨に関するコーナーの設置		分野別施策（参考）	3 がん検診の受診率の向上	
③禁煙相談事業の実施			4 がん検診の質の向上	
事業の目標			5 在宅医療の推進	
①②がん全般に関する知識や乳がんの自己検診法を学び、検診及び予防の必要性を理解することができる。			6 緩和ケアの充実	
②③喫煙や受動喫煙の害を知り、禁煙の必要性を理解し、禁煙行動への意識を持つことができる。			7 相談支援体制の活用	
			8 情報提供の充実	
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者				
区民を中心とした市民				
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体				
なし				
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など	
保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発	継続	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	【対象者】①20～40歳代の女性 ②1歳児とその父 ③小学生と20歳～50歳代の保護者 ④20～40歳代の区民 ⑤20～40歳代の区民 ⑥小学生とその保護者 ⑦6か月以上で概ね8kg前後の児とその母親 ⑧40～74歳の市民 【実施日】①6/1 ②6/12、11/27 ③8/29 ④9/2 ⑤10/7 ⑥10/16 ⑦10/8 ⑧11/12 【参加予定人数】135人	
地区依頼教育での乳がん検診（自己検診法を含む）の説明	継続	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	【対象者】対象は区内在住の乳幼児を持つ母 【実施日】2・3回/年 【参加予定人数】30人	
庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示	継続	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	【対象者】パネル展示・パンフレット等の配布 【実施日】年間を通じて実施。	
禁煙相談の実施	継続	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	【対象者】区内在住の禁煙希望者とその家族 【実施日】保健センター開庁日（予約制）	
体組成測定会でのがん予防・検診受診に関するPR	継続	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	【対象者】区民または市民 【実施日】5/12、6/12、8/30、11/27、11/29、2/9 【参加予定人数】300人	
受動喫煙に関する啓発（ポケットティッシュ配布等）	継続	1 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	【対象者】妊娠届出申請者 【実施日】妊娠届出申請時 【参加予定人数】1,800人	
取組の成果、感想など		新型コロナウイルス感染症の影響		
<p style="color: red; font-weight: bold;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">（次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。）</p>				

各団体取組シート

団体名：緑区役所保健センター		令和 3 年度分	
事業名	①健康教室等において、がん検診の受診勧奨や乳がん自己検診法等の普及を行う ②庁舎内やイベント、区報で受診勧奨・資料の展示等を行う	分野別施策（参考）	1 がんに関する正しい知識の普及
事業の目標			2 受動喫煙の防止と禁煙
①市民ががん検診を受けたり、自己検診を各自で実施したりすることで、早期発見・早期治療に結びつける ②がん検診の受診勧奨、がんに対する正しい知識の普及により、受診意欲の向上を図る			3 がん検診の受診率の向上
事業の対象者			4 がん検診の質の向上
さいたま市民			5 在宅医療の推進
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体			6 緩和ケアの充実
総務課、区民まつり実行委員会			7 相談支援体制の活用
			8 情報提供の充実
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	保健センター主催の教室に参加した市民、年間を通じて、12~40名/回×22回
血圧測定コーナー（区民課前）へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置	継続	1 ② ③ 4 5 6 7 8 9	緑区役所に来庁された市民、年間を通じて実施
緑区区民まつりにおけるがん検診に関するポスターやリーフレットの掲示と配布など	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	緑区区民まつりに来場に来庁された市民、10月に実施
さいたま市報（緑区版）へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	緑区在住の市民、市報1月号に掲載
乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	区内在住18~64歳の女性、12名に実施
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
		1 2 3 4 5 6 7 8 9	
取組の成果、感想など	新型コロナウイルス感染症の影響		
<p><b>今回は記入不要です。</b>                      (次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

各団体取組シート

団体名：岩槻区役所保健センター		令和 3 年度分	
事業名	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
①がん検診の受診勧奨 ②がん予防についての普及啓発		2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上	
①区民が、がん検診を受け、早期発見・早期治療につながる。	分野別 施策 (参考)	4 がん検診の質の向上	
②区民が、がん予防についての知識を得る。		5 在宅医療の推進	
事業の対象者		6 緩和ケアの充実	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		7 相談支援体制の活用	
子育て支援センターいわつき、児童センター、岩槻区役所観光経済室、岩槻区役所コミュニティ課		8 情報提供の充実	
事業を再開する上で協働した課所、機関、団体		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
取組の内容	新規 継続	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、実施日時、参加人数など
区報へのがん検診受診勧奨と禁煙記事の掲載	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	年4回
区内各施設にて、がん検診受診勧奨ポスターの掲示	継続	1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	子育て支援センター・児童センター利用者(通年)
区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	区役所来庁者(通年)
保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	生活習慣病予防教室等参加者(年6回) 体組成測定会参加者(年2回) 母子保健事業参加者(年10回)
岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示	継続	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	岩槻駅利用者
区民まつりにて、啓発ポスター掲示、チラシ配布、乳がん自己触診体験	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	保健センターブース来所者
区主催事業での啓発	継続	① ② ③ 4 5 6 7 8 9	他課主催事業参加者
<p style="color: red; font-weight: bold;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、令和4年2月ごろに記載していただきます。)</p>			

# さいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業

さいたま市では、若年の末期がん患者の方が住み慣れた自宅で安心して自分らしい生活が過ごせるよう在宅サービス利用料の一部を補助します。

## 対象者

以下の要件の全てに該当する方が対象となります。

- 20歳<sup>(※)</sup>以上40歳未満のさいたま市民の方

※小児慢性特定疾病医療給付制度の対象でない18歳以上の方を含みます。

- 末期がん患者（医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがない状態に至ったと判断された方）で、在宅療養生活への支援及び介護が必要な方
- 他の制度において同等の補助又は給付を受けることができない方

## 対象サービス

- 訪問介護

・ 身体介護      ・ 生活援助      ・ 通院等乗降介助

- 訪問入浴介護

- 福祉用具の貸与

・ 車いす（付属品含む）      ・ 特殊寝台（付属品含む）      ・ 床ずれ防止用具      ・ 体位変換器  
・ 手すり（工事を伴わないもの）      ・ スロープ（工事を伴わないもの）      ・ 歩行補助つえ  
・ 歩行器      ・ 移動用リフト（つり具部分を除く）      ・ 自動排泄処理装置

- 福祉用具の購入

・ 腰掛便座      ・ 自動排泄処理装置の交換可能部品      ・ 入浴補助用具      ・ 簡易浴槽  
・ 移動用リフトのつり具の部分



## 補助金額

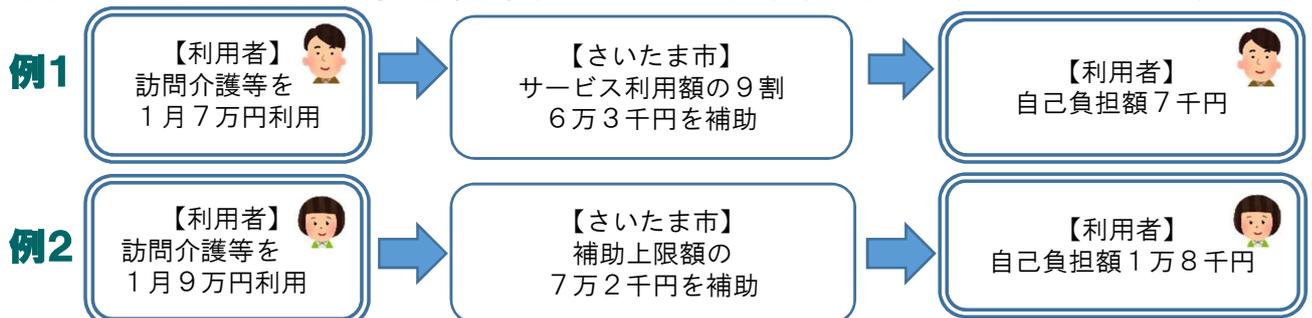
対象サービス利用料、購入費の9割（1円未満切捨て、上限額は次のとおり）

- 訪問介護、訪問入浴介護、福祉用具貸与を合わせて 月額72,000円

- 福祉用具購入 1人あたり90,000円

※このほか、申請に必要な意見書作成料を補助します。（上限額 4,000円）

※まず利用者がサービス利用料等の全額を事業者を支払い、その後市が利用者へ補助金を支払います。



【申請の流れについては裏面へ】

## 申請の流れ

### (1) 利用申請

以下を健康増進課へご提出ください（郵送可）。

- ① さいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業利用申請書（様式1）
- ② 意見書（さいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業）（様式2）

※意見書作成料を請求する場合は、さいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業交付申請兼請求書（様式7）に領収書（原本）を添えてご提出ください。

※この他、申請者と利用者の本人確認書類をご提示いただきます。

### (2) 利用決定の通知

申請内容を審査し利用を決定すると、市から決定通知書を郵送でお送りします。

### (3) サービスの利用

利用決定後、サービス提供事業者等と契約を行い、利用を開始してください。

### (4) サービス利用料の支払い

サービス提供事業者から請求された額の全額を支払い、領収書、明細書（サービスの内容、利用回数、金額等が記載されたもの）を必ず発行してもらってください。

### (5) サービス利用料の請求

以下を健康増進課へご提出ください（郵送可）。

- ① さいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業交付申請兼請求書（様式7）
- ② サービス提供事業者等の領収書（原本）
- ③ サービスの内容、利用回数、金額等が記載された明細書

※4月から翌年3月のサービス利用料は同年度内（3月中）に請求してください。

請求が遅れる場合は、健康増進課まで事前にご相談ください。

### (6) 請求者への支払い

請求内容を審査し適当と認められた場合は、指定の口座に補助金を振り込みます。

記入する書類は、さいたま市役所2階の健康増進課で配布しています。

又、市ホームページからダウンロードすることもできます。

(<https://www.city.saitama.jp/002/001/017/001/p079977.html>)



#### 【問い合わせ先】

さいたま市 保健福祉局 保健部 健康増進課

住 所：〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4

TEL：048-829-1294 FAX：048-829-1967

さいたま市若年がん患者ターミナルケアに係る  
在宅療養生活支援補助金交付要綱

(目的)

第1条 この要綱は、末期と診断された若年のがん患者が、住み慣れた自宅で最期まで自分らしく安心して日常生活を送れるよう、在宅療養生活に要する経費の一部を予算の範囲内で補助金を交付することにより、患者及びその家族の経済的負担の軽減を図ることを目的とする。

2 補助金の交付については、さいたま市補助金等交付規則（平成13年5月1日さいたま市規則第59号）に定めるもののほか、この要綱の定めるところによる。

(支援事業)

第2条 前条第1項の目的を達成するため、次条に規定する補助対象者に第4条に規定する補助対象経費の一部を補助するさいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業（以下「支援事業」という。）を実施する。

(補助対象者)

第3条 支援事業を利用できる者は、次の各号に掲げる要件の全てに該当する者（以下「対象者」という。）とする。

- (1) さいたま市内に在住し、住民基本台帳に記録されている者
- (2) 20歳以上40歳未満の者（小児慢性特定疾病医療給付制度の対象でない18歳以上の者を含む。）
- (3) がん患者（医師が一般に認められている医学的知見に基づき回復の見込みがない状態に至ったと判断したものに限る。）
- (4) 在宅療養生活への支援及び介護が必要な者
- (5) 他の制度において同等の補助又は給付を受けることができない者

(補助対象経費)

第4条 支援事業の補助対象経費（以下「補助対象経費」という。）は、訪問介護（身体介護、生活援助及び通院等乗降介助）及び訪問入浴介護の各サービス並びに福祉用具貸与及び福祉用具購入（以下「サービス等」という。）に要する経費とする。

なお、福祉用具の種類については別表に掲げるとおりとする。

(補助金の申請)

第5条 支援事業を利用しようとする者（以下「利用者」という。）は、サービス等の

利用を開始する日の前までに、さいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業利用申請書（様式第1号）（以下「申請書」という。）に、さいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業意見書（様式第2号）（以下「意見書」という。）を添えて、市長に提出しなければならない。ただし、意見書は、申請書提出後1箇月以内まで提出することができるものとする。

- 2 利用者は、申請書内で支援事業に係る一切の手続きを民法第643条に基づき委任することができ、受任者は同法第653条第1項第1号の規定に関わらず、支援事業に係る手続きを委任されているものとする。
- 3 利用者死亡時に受任者が指定されていない場合、利用者死亡の時点を持って支援事業に係る手続きは行えないものとする。

（決定及び通知）

第6条 市長は、前条第1項の規定により申請書及び意見書を受理したときは、速やかに利用の可否を決定し、さいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業利用決定（却下）通知書（様式第3号）により利用者に通知するものとする。

（意見書作成料の請求）

第7条 医師による意見書の作成に際し発生した料金については、さいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業補助金交付申請兼請求書（様式第7号）により請求することができ、上限額は4千円とする。ただし、支援事業の利用が却下された場合は、請求者の全額自費とする。

- 2 市長は、意見書作成料の請求があったときは、内容を審査し、適当と認められる場合には、さいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業補助金交付通知書（決定及び確定・却下）（様式第8号）により請求者に通知するものとする。
- 3 意見書作成料の請求を行う利用者は、利用決定通知日の属する年度の末日までに請求しなければならない。

（医師の意見の聴取）

第8条 市長は、必要と認める場合には、第6条の規定により支援事業の利用が決定した者（以下「利用決定者」という。）について、医師の意見を求めることができる。

（変更又は廃止の届出義務）

第9条 利用決定者は、支援事業の利用期間中において、次の各号のいずれかに該当

したときは、さいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業利用変更（廃止）申請書（様式第4号）により、速やかにその旨を市長に届けなければならない。

- (1) 住所等申請内容に変更が生じたとき
- (2) 支援事業を利用する必要がなくなったとき
- (3) 第3条各号に定める対象者に該当しなくなったとき

（変更又は廃止の決定及び通知）

第10条 市長は、前条の規定による変更（廃止）申請書を受理したときは、速やかに変更又は廃止の可否を決定し、さいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業利用変更（廃止）決定（却下）通知書（様式第5号）により利用決定者に通知するものとする。

- 2 市長は、利用決定者からの届出なくして前条第1項第1号から第3号までのいずれかに該当したことを把握した場合は、その事由が発生した日に遡り変更（廃止）することができる。

（利用の取消又は中止）

第11条 市長は、利用決定者が次の各号のいずれかに該当するときは、本事業の利用を取消又は中止することができる。

- (1) 疾病等により在宅療養の継続が困難であると認められるとき
- (2) 市長が支援事業を利用することについて適当でないと認めたとき

- 2 市長は、前項の取消又は中止をしたときは、さいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業利用取消（中止）通知書（様式第6号）により、利用決定者に通知するものとする。

（補助金の額）

第12条 市長は、第4条に掲げる補助対象経費の100分の90に相当する額を補助するものとする。なお、100分の90に相当する額に1円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとする。ただし、利用者が生活保護受給世帯の場合にあっては、100分の100に相当する額を補助するものとする。

- 2 前項の補助対象経費の上限額は、訪問介護、訪問入浴介護及び福祉用具貸与を合わせて1人当たり1月8万円とする。また、福祉用具購入については1人当たり10万円とする。

（サービス等提供事業者への依頼）

第13条 利用者等は、第4条に掲げる補助対象経費に係るサービス等を自ら提供す

る事業者へ直接依頼するものとする。

(利用料の請求、支払及び期限)

第14条 利用者は、補助対象経費のうち、自己負担分を除いた金額をさいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業補助金交付申請兼請求書(様式第7号)に月単位で記載し、領収書を添えて、市長に請求するものとする。ただし、請求は月単位又は一定期間分をまとめて行うことができる。

2 市長は、利用料の請求があったときは、内容を審査し、適当と認められる場合に金額を通知し補助金を支払うものとする。なお、交付決定の通知はさいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業補助金交付通知書(決定及び確定・却下)(様式第8号)により請求者に通知するものとする。

3 同条第1項の規定による請求は、サービスを利用した日の属する年度の末日までに行わなければならない。

(補助金の返還)

第15条 市長は、虚偽の申込、申請その他不正な手段により、補助金の交付を受けた者がいるときは、その者に対し、交付した補助金の全部又は一部を返還させることができる。

(その他)

第16条 この要綱に定めるもののほか、支援事業の実施に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日等)

1 この要綱は、令和3年7月1日から施行し、令和3年4月1日から適用する。

(初年度における申請期間の特例)

2 令和3年4月1日から令和3年9月30日までの期間に利用開始した場合は、第5条第1項の規定にかかわらず、令和3年10月31日まで申請書の提出を受け付ける。

別表（第4条関係）

福祉用具貸与項目

番号	種 目	機能又は構造等
1	車いす	自走用標準型車いす、普通型電動車いす又は介助用標準型車いすに限る。
2	車いす付属品	クッション、電動補助装置等であって、車いすと一体的に使用されるものに限る。
3	特殊寝台	サイドレールが取り付けられているもの又は取り付け可能なものであって、次に掲げる機能のいずれかを有するもの。 (1) 背部又は脚部の傾斜角度が調整できる機能 (2) 床板の高さが無段階に調整できる機能
4	特殊寝台付属品	マットレス、サイドレール等であって、特殊寝台と一体的に使用されるものに限る。
5	床ずれ防止用具	次のいずれかに該当するものに限る。 (1) 送風装置又は空気圧調整装置を備えた空気マット (2) 水等によって減圧による体圧分散効果をもつ全身用のマット
6	体位変換器	空気パッド等を身体の下に挿入することにより、居宅要介護者等の体位を容易に変換できる機能を有するものに限り、体位の保持のみを目的とするものを除く。
7	手すり	取付けに際し工事を伴わないものに限る。
8	スロープ	段差解消のためのものであって、取付けに際し工事を伴わないものに限る。
9	歩行器	歩行が困難な者の歩行機能を補う機能を有し、移動時に体重を支える構造を有するものであって、次のいずれかに該当するものに限る。 (1) 車輪を有するものにあつては、体の前及び左右を囲む把手等を有するもの (2) 四脚を有するものにあつては、上肢で保持して移動させることが可能なもの
10	歩行補助つえ	松葉づえ、カナディアン・クラッチ、ロフストランド・クラッチ、プラットホームクラッチ及び多点杖に限る。
11	移動用リフト（つり具の部分を除く。）	床走行式、固定式又は据置式であり、かつ、身体をつり上げ又は体重を支える構造を有するものであって、その構造により、自力での移動が困難な者の移動を補助する機能を有するもの（取付けに住宅の改修を伴うものを除く。）。
12	自動排泄処理装置	尿又は便が自動的に吸引されるものであり、かつ、尿や便の経路となる部分を分割することが可能な構造を有するものであって、居宅要介護者等又はその介護を行う者が容易に使用できるもの（交換可能部品（レシーバー、チューブ、タンク等のうち、尿や便の経路となるものであって、居宅要介護者等又はその介護を行う者が容易に交換できるものをいう。）を除く。）。

別表（第4条関係）

福祉用具購入項目

番号	種 目	機能又は構造等
1	腰掛便座	次のいずれかに該当するものに限る。 (1) 和式便器の上に置いて腰掛式に変換するもの (2) 洋式便器の上に置いて高さを補うもの (3) 電動式又はスプリング式で便座から立ち上がる際に補助できる機能を有しているもの (4) 便座、バケツ等からなり、移動可能である便器（居室において利用可能であるものに限る。）
2	自動排泄処理装置の交換可能部品	自動排泄処理装置の交換可能部品（レシーバー、チューブ、タンク等）のうち尿や便の経路となるものであって、居宅要介護者等又はその介護を行う者が容易に交換できるもの。
3	入浴補助用具	座位の保持、浴槽への出入り等の入浴に際しての補助を目的とする用具であって次のいずれかに該当するものに限る。 (1) 入浴用椅子 (2) 浴槽用手すり (3) 浴槽内椅子 (4) 入浴台（浴槽の縁にかけて利用する台であって、浴槽への出入りのためのもの。） (5) 浴室内すのこ (6) 浴槽内すのこ (7) 入浴用介助ベルト
4	簡易浴槽	空気式又は折りたたみ式等で容易に移動できるものであって、取水又は排水のために工事を伴わないもの。
5	移動用リフトのつり具の部分	身体に適合するもので、移動用リフトに連結可能なものであること。